

Dell™ PowerEdge™ SC430 システム インストール & トラブルシューティングガイド

[はじめに](#)

[インジケータ、メッセージ、およびコード](#)

[システム診断プログラムの実行](#)

[システムのトラブルシューティング](#)

[システムオプションの取り付け](#)

[ドライブの取り付け](#)




[部品交換のみのサービスの手順](#)

[困ったときは](#)

[ジャンパおよびコネクタ](#)

[I/O コネクタ](#)

メモ、注意、警告

-  **メモ:** コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示します。

略語について

略語の説明は、『ユーザズガイド』の「用語集」を参照してください。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。©2005 すべての著作権は Dell Inc. にあります。

Dell Inc. の書面による許可のない複製は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

本書で使用されている商標について: Dell, DELL のロゴ, Inspiron, Dell Precision, Dimension, OptiPlex, Latitude, PowerEdge, PowerVault, PowerConnect, DellNetInspirone, および PowerApp は Dell Inc. の商標です。Microsoft および Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。Windows Server は Microsoft Corporation の商標です。は EMC Corporation の登録商標です。

本書では、必要に応じて上記以外の商標や会社名が使用されている場合がありますが、これらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に所属するものではありません。

初版: 2005 年 4 月 13 日

ジャンパおよびコネクタ

Dell™ PowerEdge™ SC430 システム インストール & トラブルシューティングガイド

- [ジャンパー 概要](#)
- [システム基板のジャンパ](#)
- [システム基板のコネクタ](#)
- [パスワードを忘れたとき](#)

本項では、システムジャンパについて説明します。また、ジャンパとスイッチについての基本的な情報を提供するとともに、システム内のさまざまな基板上的コネクタについても説明します。

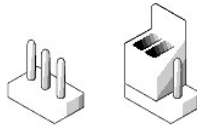
ジャンパー 概要

ジャンパを使うと、プリント回路基板の回路構成を簡単に変更できます。システムを再構成する場合、回路基板またはドライブのジャンパ設定の変更が必要になることがあります。

ジャンパ

ジャンパは回路基板上的小さなブロックで、2 本以上のピンが出ています。ピンにはワイヤを格納したプラスチック製のプラグが被せてあります。ワイヤはピン同士を接続して、回路を形成します。ジャンパの設定を変更するには、ピンからプラグを抜いて、指定のピンに注意深く差し込みます。[図 A-1](#) に、2 ピンジャンパの例を示します。

図 A-1 ジャンパの例



警告: 必ずシステムの電源を切ってから、ジャンパの設定を変更してください。電源が入ったまま変更すると、システムの損傷など、予期せぬ結果が生じる場合があります。

1 本のピンだけにプラグが被せてある場合やプラグが被せていない場合は、ジャンパが「オープン」状態、または「ジャンパなし」といいます。2 本のピンにまたがってプラグが被せてある場合は、「ジャンパあり」といいます。

[図 A-2](#) に、システムジャンパブロックの位置とデフォルトの設定値を示します。システムジャンパの設定、デフォルト設定、および機能については、[表 A-1](#) を参照してください。

システム基板のジャンパ

[図 A-2](#) に、システム基板上的設定ジャンパの位置を示します。[表 A-1](#) に、ジャンパ設定の一覧を示します。

図 A-2 システム基板のジャンパ

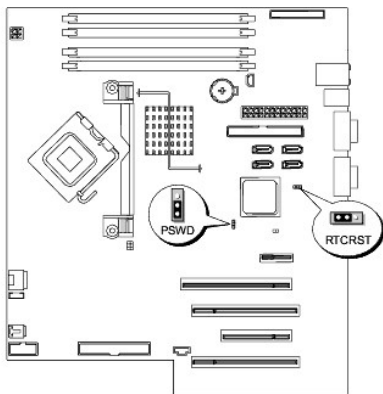






表 A-1 システム基板のジャンパ設定

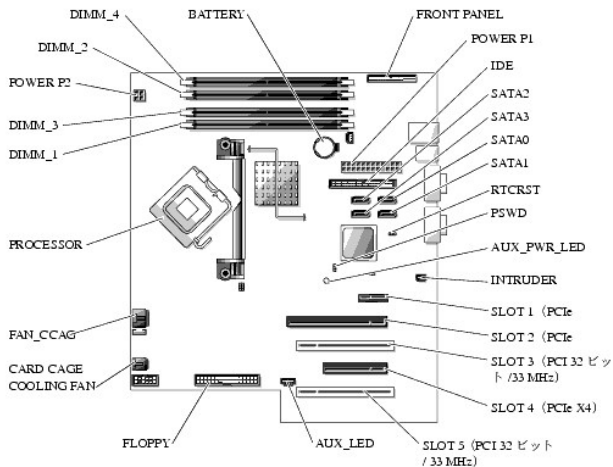
ジャンパ	設定	説明
------	----	----

PSWD	 (デフォルト)	パスワード機能は有効です。
		パスワード機能は無効です。
RTCST	 (デフォルト)	NVRAM の設定がシステム起動時に保持されます。
		NVRAM の設定は、次のシステム起動時にクリアされます。

システム基板のコネクタ

システム基板のコネクタの位置と説明については、[図 A-3](#) および [表 A-2](#) を参照してください。[図 A-3](#)には、拡張スロットとバス動作速度も示してあります。

図A-3 システム基板のコネクタ



表A-2 システム基板のコネクタ

コネクタ	説明
AUX_LED	外付け LED コネクタ
AUX_PWR_LED	補助電源 LED
BATTERY	システムバッテリー
CARD CAGE COOLING FAN	カードケージ冷却ファン
DIMM_x	メモリモジュール(4)
FAN_CPU	プロセッサファンコネクタ
FLOPPY	フロッピードライブ
FRONT PANEL	正面パネルのスイッチとインジケータ
I/O 拡張カード	拡張カードスロット <ul style="list-style-type: none"> 1 PCI Express [x8] × 1 1 PCI Express [x1] × 1 1 PCI Express [x4] × 1 1 32 ビット / 33 MHz PCI × 2
IDE	IDE ドライブコネクタ
INTRUDER	シャーシイントルーダスイッチ
POWER P1	メイン電源コネクタ
POWER P2	電源コネクタ(小)
PSWD	パスワードリセットジャンパ。 表 A-1 を参照してください。
RTCST	RTC リセットジャンパ。 表 A-1 を参照してください。
SATA1、SATA3、SATA0、SATA2	SATA コネクタ

パスワードを忘れたとき

システムのソフトウェアセキュリティ機能には、システムパスワードと Admin パスワードがあります。これらのパスワードについては、『ユーザーズガイド』の「セットアップユーティリティの使い方」で詳細に説明されています。パスワードジャンパを使って、これらのパスワード機能を有効または無効に設定できるので、現在どのようなパスワードが使用されていてもクリアすることができます。

⚠ 警告: システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。

1. システムおよび接続されているすべての周辺機器の電源を切り、電源コンセントから外します。
2. システムカバーを開きます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
3. PSWD ジャンパを無効の位置にします。[図 A-2](#) および [表 A-1](#) を参照してください。
4. システムカバーを閉じます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。

5. システムおよびシステムに接続されている周辺機器を電源コンセントに接続し、電源を入れます。

既存のパスワードは、パスワードジャンパプラグを無効にした状態でシステムを再起動するまで無効化(消去)できません。ただし、新しいシステムパスワードと Admin パスワードの両方またはどちらか一方を設定する前に、ジャンパを有効の位置にする必要があります。

6. システムおよび接続されているすべての周辺機器の電源を切り、電源コンセントから外します。
7. システムカバーを開きます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
8. PSWD ジャンパを無効の位置から有効の位置にします。[図 A-2](#) および [表 A-1](#) を参照してください。
9. システムカバーを閉じます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。

10. システムおよびシステムに接続されている周辺機器を電源コンセントに接続し、電源を入れます。

11. 新しいシステムパスワードおよび Admin パスワード(またはどちらか一方)を設定します。

セットアップユーティリティを使用して新しいパスワードを設定する方法については、『ユーザーズガイド』の「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。

[メモ、注意および警告](#)

I/O コネクタ

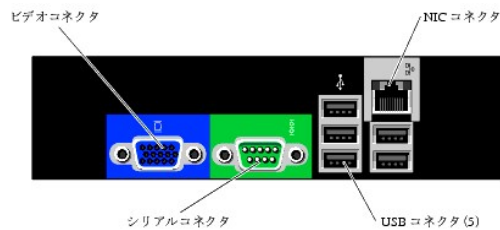
Dell™ PowerEdge™ SC430 システム インストール & トラブルシューティングガイド

- [I/O コネクタ](#)
- [ビデオコネクタ](#)
- [USBコネクタ](#)
- [内蔵 NIC コネクタ](#)
- [ネットワークケーブルの要件](#)

I/O コネクタ

I/O コネクタは、キーボード、マウス、プリンタ、モニタなどの外付けデバイスとの通信にシステムが使用するゲートウェイです。本項では、お使いのシステムに装備されている各種コネクタについて説明します。システムに接続しているハードウェアを再設定するときは、コネクタのピン番号や信号に関する情報が必要な場合があります。[図 B-1](#) に、システム背面の各コネクタを示します。

図B-1 背面パネルの I/O コネクタ



[表 B-1](#) は、システムの各コネクタを示すために貼付されているアイコンについての説明です。

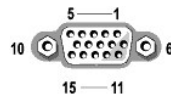
表B-1 I/O コネクタのアイコン

アイコン	コネクタ
	ビデオコネクタ
	シリアルコネクタ
	USB コネクタ
	NIC コネクタ

ビデオコネクタ

15 ピン高集積 D サブミニコネクタを使って、VGA 互換モニタをシステムに内蔵のビデオコントローラに接続することができます。[図 B-2](#) はビデオコネクタのピンナンバーを示し、[表 B-2](#) はコネクタのピン割り当て定義を示します。

図B-2 ビデオコネクタのピン番号



表B-2 ビデオコネクタのピン割り当て定義

ピン	信号	I/O	定義
1	RED	○	赤色ビデオ
2	GREEN	○	緑色ビデオ
3	BLUE	○	青色ビデオ
4	NC	なし	接続なし
5~8、10	GND	なし	信号アース

9	VCC	なし	供給電圧
11	NC	なし	接続なし
12	DDC データ出力	O	モニタ検出データ
13	HSYNC	O	水平同期
14	VSYNC	O	垂直同期
15	NC	なし	接続なし

USBコネクタ

システムの USB コネクタはキーボード、マウス、およびプリンタなどの USB 対応周辺機器やディスクドライブ、CD ドライブ、およびコンパクトフラッシュドライブなどの USB 対応デバイスを接続することができます。図 B-3 には USB コネクタのピン番号を示し、表 B-3 にはコネクタのピン割り当ての定義を示します。

メモ: ご使用のシステムには、背面パネルに 5 つ、正面パネルに 2 つの USB コネクタが装備されています。

注意: チャンネル 1 つ当たりの消費電力が最大電流 500 mA、または +5 V を超える USB デバイスおよび USB デバイスの組み合わせは接続しないでください。この限界値を超えるデバイスを接続すると、USB コネクタがシャットダウンすることがあります。USB デバイスの最大電流値については、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

図B-3 USB コネクタのピン番号



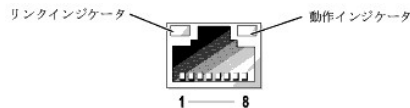
表B-3 USB コネクタのピン割り当て定義

ピン	信号	I/O	定義
1	Vcc	なし	供給電圧
2	DATA	I	データ入力
3	+DATA	O	データ出力
4	GND	なし	信号アース

内蔵 NIC コネクタ

システム内蔵の NIC は、独立したネットワーク拡張カードとして機能し、サーバーとワークステーション間的高速通信を提供します。図 B-4 には NIC コネクタのピン番号を示します。また、表 B-4 にはコネクタのピン割り当ての定義を示します。

図B-4 NIC コネクタのピン番号




表B-4 NIC コネクタのピン割り当て定義

ピン	信号	I/O	定義
1	TD+	O	データ出力(+)
2	TD-	O	データ出力(-)
3	RD+	I	データ入力(+)
4	NC	なし	接続なし
5	NC	なし	接続なし
6	RD-	I	データ入力(-)
7	NC	なし	接続なし
8	NC	なし	接続なし

ネットワークケーブルの要件

NIC は、標準の RJ45 互換プラグが付いた UTP Ethernet ケーブルをサポートします。ケーブル配線時には、次の制限事項を守ってください。

 **注意：** 回線間の干渉を防止するため、音声およびデータ回線はそれぞれ別のシースで被覆されていなければなりません。

- 1 カテゴリ 5 以上のワイヤおよびコネクタを使用します。
- 1 ケーブルは(ワークステーションからハブまで)100 m を超えないようにします。

ネットワーク操作の詳細なガイドラインについては、IEEE 802.3 標準の「Systems Considerations of Multi-Segment Networks」を参照してください。

[メモ、注意および警告](#)

[メモ、注意および警告](#)

はじめに

Dell™ PowerEdge™ SC430 システム インストール & トラブルシューティングガイド


● その他の情報

お使いのシステムには、以下のアップグレードオプションが用意されています。


- 1 プロセッサ
- 1 メモリ
- 1 PCI または PCIe 拡張カード
- 1 SATA ハードドライブ
- 1 SCSI ハードドライブ
- 1 SCSI コントローラ
- 1 オプティカルドライブ
- 1 バックアップ用テープドライブ
- 1 ディスケットドライブ

お使いのシステムにはシステム診断プログラムも付属しています。システムが起動可能な場合は、この診断プログラムを使って、ハードウェアの問題を検査することができます。

その他の情報

 『製品情報ガイド』には、安全および認可機関に関する情報が記載されています。保証に関する情報については、『サービス&サポートのご案内』を参照してください。

- 1 『はじめに』(Getting Started Guide)では、最初にシステムをセットアップする場合の概要を説明しています。
- 1 『ユーザーズガイド』では、システムの機能および仕様について説明しています。
- 1 システムに付属の CD には、システムの設定と管理に使用するマニュアルやツールが収録されています。
- 1 システム管理ソフトウェアのマニュアルでは、システム管理ソフトウェアの機能、動作要件、インストール、および基本操作について説明しています。
- 1 オペレーティングシステムのマニュアルでは、オペレーティングシステムソフトウェアのインストール手順(必要な場合)や設定方法、および使い方について説明しています。
- 1 システムとは別に購入したコンポーネントのマニュアルでは、購入したオプション装置の取り付けや設定について説明しています。
- 1 システム、ソフトウェア、またはマニュアルの変更に關して記載されたアップデート情報がシステムに付属していることがあります。

 **メモ:** アップデートには他の文書の内容を差し替える情報が含まれている場合がよくありますので、support.dell.com でアップデートがないかどうかを常に確認し、初めにお読みください。

- 1 リリースノートまたは readme ファイルには、システムまたはマニュアルの最新のアップデート情報や、専門知識をお持ちのユーザーや技術者のための高度な技術情報が含まれています。

[メモ、注意および警告](#)

インジケータ、メッセージ、およびコード

Dell™ PowerEdge™ SC430 システム インストール & トラブルシューティングガイド

- [正面のパネルインジケータおよび機能](#)
- [背面パネルのインジケータおよび機能](#)
- [NIC インジケータコード](#)
- [電源装置の機能](#)
- [システムメッセージ](#)
- [システムビープコード](#)
- [警告メッセージ](#)
- [診断メッセージ](#)
- [アラートメッセージ](#)

お使いのシステム、アプリケーション、およびオペレーティングシステムには、問題を識別してユーザーに警告する機能があります。システムが正常に機能していない場合、以下のいずれかの方法で通知します。

- 1 システムインジケータ
- 1 システムメッセージ
- 1 ビープコード
- 1 警告メッセージ
- 1 診断メッセージ
- 1 アラートメッセージ

本項では、上記の各タイプのメッセージについて説明し、考えられる原因と、メッセージに示された問題を解決するための処置についても説明します。また、システムのインジケータおよびその機能について図を使って説明します。

正面のパネルインジケータおよび機能

[図 2-1](#) に正面パネルに設けられたハードドライブの動作、診断、LANの動作のインジケータを示します。電源ボタンには電源の状態を示すステータスインジケータが内蔵されています。また、オプションのディスクドライブには動作インジケータが装備されています。

[表 2-1](#) には正面パネルの各インジケータコードに関連する状態の詳細を示します。[表 2-2](#) には診断インジケータコードに関連する状態の詳細を示します。

図 2-1 正面パネルのインジケータおよび機能

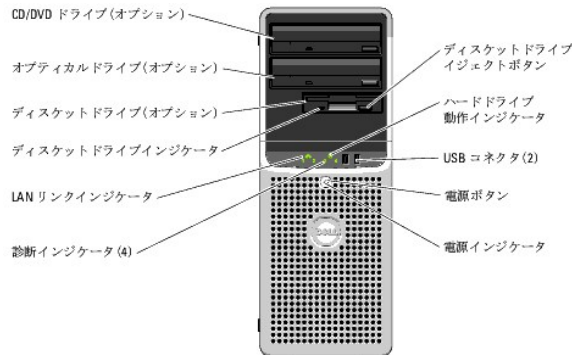


表 2-1 正面パネルインジケータコード

インジケータのタイプ	動作インジケータ	インジケータコード
電源	消灯	システムはオフです。
	黄色の点滅	システムの電源が入って起動中です。ハードドライブインジケータが消えている場合、電源装置の交換が必要かもしれません。ハードドライブインジケータが点灯している場合は、システム基板的な故障です。診断インジケータをチェックし、特定の問題が発生しているかどうか確認します。 表 2-2 を参照してください。
	黄色が点灯	電源装置は正常と考えられます。診断インジケータをチェックし、特定の問題が発生しているかどうか確認します。 表 2-2 を参照してください。
	緑色が点灯	システムの電源が入っています。
	緑色の点滅	システムが低電力状態になっています。診断インジケータをチェックし、特定の問題が発生しているかどうか確認します。 表 2-2 を参照してください。
ディスクドライブ	緑色の点滅	ディスクドライブの動作を示します。

ハードドライブ	緑色の点滅	ハードドライブの動作を示します。
LAN リンク	緑色が点灯	ネットワークが接続されていることを示します。

正面パネルには 2 つの USB 2.0 コネクタも装備されています。[図 2-1](#) を参照してください。

診断インジケータコード

システムの起動中に、システム正面パネルの 4 つの診断インジケータがエラーコードを表示します。[表 2-2](#) に、エラーコードに関連付けられた原因と可能な対応策を一覧表示します。ハイライトされている場合は点灯、ハイライトされていない場合は消灯を表します。


 **メモ:** システムが POST を終了すると、すべての診断ライトが消灯します。

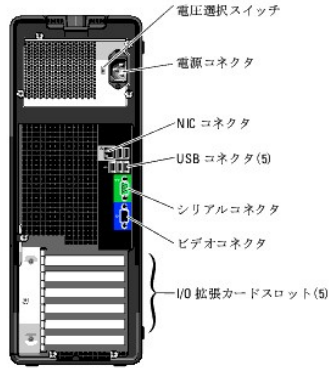
表 2-2 診断インジケータコード

コード	原因	対応処置
①②③④	プロセッサに障害が発生している可能性があります。	「システムのトラブルシューティング」の「 プロセッサのトラブルシューティング 」を参照してください。
①②③④	メモリ障害。	「システムのトラブルシューティング」の「 システムメモリのトラブルシューティング 」を参照してください。
①②③④	拡張カードに障害が発生している可能性があります。	「システムのトラブルシューティング」の「 拡張カードのトラブルシューティング 」を参照してください。
①②③④	ビデオに障害が発生している可能性があります。	「 困ったときは 」を参照してください。
①②③④	ディスクドライブまたはハードドライブの障害。	ディスクドライブおよびハードドライブが正しく取り付けられていることを確認します。ご使用のシステムに取り付けられているドライブについては、「 ドライブの取り付け 」を参照してください。
①②③④	USB に障害が発生している可能性があります。	「システムのトラブルシューティング」の「 USB デバイスのトラブルシューティング 」を参照してください。
①②③④	メモリモジュールが検出されません。	「システムのトラブルシューティング」の「 システムメモリのトラブルシューティング 」を参照してください。
①②③④	システム基板の障害。	「 困ったときは 」を参照してください。
①②③④	メモリの構成エラー。	「システムのトラブルシューティング」の「 システムメモリのトラブルシューティング 」を参照してください。
①②③④	システム基板リソースおよびシステム基板ハードウェアのどちらかまたは両方に障害がある可能性があります。	「システムのトラブルシューティング」の「 IRQ 割り当てコンフリクトのトラブルシューティング 」を参照してください。問題が解決しない場合は、「 困ったときは 」を参照してください。
①②③④	システムリソース設定エラーの可能性がありま。	「 システムのトラブルシューティング 」を参照してください。 問題が解決しない場合は、「 困ったときは 」を参照してください。
①②③④	その他の障害。	ディスクドライブ、オプティカルドライブ、およびハードドライブが正しく取り付けられていることを確認します。システムに取り付けたドライブの種類に応じて、「 システムのトラブルシューティング 」を参照してください。 問題が解決しない場合は、「 困ったときは 」を参照してください。
①②③④	BIOSチェックサム障害が検出されました。システムは修復モードです。	すべてのネットワークカードおよび接続が正常に機能していることを確認します。「 システムのトラブルシューティング 」を参照してください。 問題が解決しない場合は、「 困ったときは 」を参照してください。
①②③④	POST 後、システムが正常に動作しています。	情報のみです。

背面パネルのインジケータおよび機能

[図 2-2](#) に背面パネルのインジケータと機能を示します。[図 2-3](#) には内蔵ネットワークアダプタのインジケータを示します。[表 2-4](#) では、各パネルインジケータに関連する状態について説明します。

図 2-2 背面パネルのインジケータおよび機能



NIC インジケータコード

図2-3 NIC インジケータ

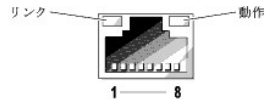


表2-3 NIC インジケータ

インジケータのタイプ	インジケータコード	説明
動作	消灯	動作インジケータとリンクインジケータがどちらも消灯している場合、NIC はネットワークに接続していないか、セットアップユーティリティプログラムで無効に設定されています。『ユーザーズガイド』の「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。
	点滅	ネットワークデータを送信中または受信中であることを示します。
リンク	消灯	リンクインジケータと動作インジケータがどちらも消灯している場合、NIC はネットワークに接続していないか、セットアップユーティリティプログラムで無効に設定されています。『ユーザーズガイド』の「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。
	黄色	1000 Mbps で接続
	オレンジ色	100 Mbps で接続
	緑色	10 Mbps で接続

電源装置の機能

システムの背面パネルの選択スイッチで、2 つの基本入力電圧のいずれかを選択できます。このスイッチの設定が、[表 2-4](#)に従っているか確認します。

表2-4 選択スイッチ

使用地域の電源電圧	電圧選択スイッチの設定
110 V	115
220 V	230

システムの電源の要件については、『ユーザーズガイド』の「仕様」を参照してください。

システムメッセージ

システムに問題がある可能性が検出されると、システムメッセージが画面に表示されます。[表 2-5](#) に、システムメッセージとその考えられる原因および対応処置の一覧を示します。

メモ: 表示されたシステムメッセージが [表 2-5](#) に記載されていない場合、メッセージが表示されたときに実行していたアプリケーションのマニュアルや、オペレーティングシステムのマニュアルを参照して、メッセージの説明と推奨されている処置を確認してください。

表2-5 システムメッセージ

メッセージ	原因	対応処置

メッセージ	原因	対応処置
A filename cannot contain any of the following characters: \\ / : * ? " < >		これらの記号をファイル名に使用しないでください。
A required .DLL file was not found	実行しようとしているアプリケーションに必要なファイルがありません。	アプリケーションを削除してから、再インストールします。 インストール手順については、アプリケーションに付属しているマニュアルを参照してください。
Alert!CPU fan not detected	プロセッサ冷却ファンが不良か、またはファンアセンブリが正しく取り付けられていません。	プロセッサエアフローカバーが正しく取り付けられているか確認します。「システムオプションの取り付け」の「 冷却ファン 」を参照してください。
Alert!Rear fan failure	冷却ファンが不良か、またはファンアセンブリが正しく取り付けられていません。	「システムオプションの取り付け」の「 冷却ファン 」を参照してください。
Alert!Previous reboot was due to voltage regulator failure	電圧レギュレータが故障している可能性があります。	「 困ったときは 」を参照してください。
Alert! System battery voltage is low	バッテリーが消耗している可能性があります。	バッテリーを交換します。「システムのトラブルシューティング」の「 システムバッテリーのトラブルシューティング 」を参照してください。
Alert!Unable to initialize all installed memory	メモリモジュールに障害があるか、またはメモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。	「システムのトラブルシューティング」の「 システムメモリのトラブルシューティング 」を参照してください。 問題が解決しない場合は、「 困ったときは 」を参照してください。
System halted! Mixing ECC and non-ECC DIMMs is not supported on this platform	異なった種類のメモリが取り付けられています。	「システムのトラブルシューティング」の「 システムメモリのトラブルシューティング 」を参照してください。 問題が解決しない場合は、「 困ったときは 」を参照してください。
Alert!Cover was previously removed.	システムカバーが取り外されました。	情報のみです。シャシーントラブルシューティングのリセット方法については、『ユーザーズガイド』の「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。
Alert!CPU 0 fan failure.	プロセッサ冷却ファンが不良か、またはファンアセンブリが正しく取り付けられていません。	プロセッサエアフローカバーが正しく取り付けられているか確認します。「システムオプションの取り付け」の「 冷却ファン 」を参照してください。
Alert!Card-cage fan failure	POST 実行中にカードケージファンが検出されませんでした。セットアップユーティリティで キーボードエラーの報告 オプションが無効になっている場合でも、システムは <F1>/<F2> プロンプトで停止します。	「システムオプションの取り付け」の「 冷却ファン 」を参照してください。
Alert!Error initializing PCI Express slot n (or bridge).	システムが PCI 拡張カードを設定しようとして問題が発生しました。	「システムのトラブルシューティング」の「 拡張カードのトラブルシューティング 」を参照してください。
Alert!OS Install Mode enabled.Amount of available memory limited to 256 MB	セットアップユーティリティの OS Install Mode オプションが On に設定されています。2 GB 以上のシステムメモリを使用した場合、インストールを完了できない OS もあるので、この設定で利用できるメモリ量を 256 MB に制限します。	オペレーティングシステムのインストール後、セットアップユーティリティを起動して、OS Install Mode オプションを Off に設定します。詳細については、『ユーザーズガイド』を参照してください。
Alert!Previous fan failure.	前回のシステム使用時にファンが原因でエラーが発生しました。	通気口がふさがれていないか、すべてのファンが正しく取り付けられ動作しているか確認します。
Alert!Previous attempts at booting this system have failed at checkpoint [nnnn].For help in resolving this problem, please note this checkpoint and contact Dell Technical Support.	同じエラーによって、システムは3 回連続して起動ルーチンを完了できませんでした。	「 困ったときは 」を参照してください。
Alert!Previous Processor Thermal Failure	前回のシステム使用時にプロセッサがオーバーヒートしました。	通気口がふさがれていないか、すべてのファンが正しく取り付けられ動作しているか確認します。また、プロセッサのヒートシンクが正しく取り付けられているか確認します。「システムオプションの取り付け」の「 プロセッサ 」を参照してください。
Alert!Previous Shutdown Due to Thermal Event	前回のシステム使用時にプロセッサまたはハードドライブがオーバーヒートしました。	通気口がふさがれていないか、すべてのファンが正常に動作しているか確認します。また、プロセッサのヒートシンクが正しく取り付けられているか確認します。「システムオプションの取り付け」の「 プロセッサ 」を参照してください。
Alert!Uncorrectable Memory Error Previously Detected	1 つまたは複数のメモリモジュールが正しく取り付けられていないか、不良の可能性があります。または、システム基板が不良の可能性があります。	「システムのトラブルシューティング」の「 システムメモリのトラブルシューティング 」を参照してください。 問題が解決しない場合は、「 困ったときは 」を参照してください。
Attachment failed to respond	ディスクドライブまたはハードドライブコントローラが関連するドライブにデータを送れません。	「システムのトラブルシューティング」の「 ディスクドライブのトラブルシューティング 」、「 SATA ハードドライブのトラブルシューティング 」、または「 SCSI ハードドライブのトラブルシューティング 」を参照してください。
Bad command or file name	コマンドまたはファイル名が正しくありません。	正しいコマンドを入力したか、スペースの位置は正しいか、パス名は正しいかを確認します。
Bad error-correction code (ECC) on disk read	ディスクドライブまたはハードドライブコントローラが、修正不能な読み取りエラーを検出しました。	「システムのトラブルシューティング」の「 ディスクドライブのトラブルシューティング 」、「 SATA ハードドライブのトラブルシューティング 」、または「 SCSI ハードドライブのトラブルシューティング 」を参照してください。
bb/dd/f:Error allocating IRQ for PCI Device	システムが拡張カードまたはシステム基板上の内蔵デバイスを設定しようとして問題が発生しま	デバイス番号から問題の拡張カードがわかる場合は、そのカードを取り外します。「システムのトラブル


bb/dd/f:Error allocating I/O BAR for PCI Device bb/dd/f:Error allocating Mem BAR for PCI Device bb/dd/f:Error allocating PMem BAR for PCI Device bb/dd/f:Error allocating UMB for PCI Device where bb is the bus number, dd is the device number, and f is the function number. メモ: bb, dd, f は 16 進数です。	した。	シューティング」の「 拡張カードのトラブルシューティング 」を参照してください。 デバイス番号がシステム基板上の内蔵デバイスを示す場合は、そのデバイスを無効にします。『ユーザーズガイド』の「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。
Controller has failed	ハードドライブまたはそれに関連するコントローラが不良です。	「システムのトラブルシューティング」の「 SATA ハードドライブのトラブルシューティング 」または「 SCSI ハードドライブのトラブルシューティング 」を参照してください。
Data error	ディスクドライブまたはハードドライブがデータを読み取れません。	オペレーティングシステムで、適切なユーティリティを使用して、ディスクドライブまたはハードドライブのファイル構成をチェックします。 これらのユーティリティを実行するには、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。
Decreasing available memory	メモリモジュールに障害があるか、またはメモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。	メモリモジュールを取り付けなおし、必要に応じてメモリモジュールを交換します。「システムオプションの取り付け」の「 メモリ 」を参照してください。 「システムのトラブルシューティング」の「 システムメモリのトラブルシューティング 」を参照してください。
Diskette drive 0 seek failure	ケーブルが緩んでいるか、システム設定情報がハードウェア構成と一致していない可能性があります。	「システムのトラブルシューティング」の「 ディスクドライブのトラブルシューティング 」を参照してください。
Diskette read failure	ディスクに欠陥があるか、ケーブルが緩んでいる可能性があります。	ディスクドライブインジケータが点灯する場合、別のディスクを試してみます。 「システムのトラブルシューティング」の「 ディスクドライブのトラブルシューティング 」を参照してください。
Diskette subsystem reset failed	ディスクドライブコントローラに問題がある可能性があります。	システム診断プログラムを実行します。「 システム診断プログラムの実行 」を参照してください。
Diskette write protected	ディスクが書き込み禁止になっています。	ライトプロテクトタブをスライドさせてオープン位置にします。
Drive not ready	ディスクがドライブに入っていません。	ディスクをドライブに挿入します。
Floppy drive seek failure	ディスクドライブが接続されていませんが、BIOS セットアップメニューでは有効になっています。	「システムのトラブルシューティング」の「 ディスクドライブのトラブルシューティング 」を参照してください。
Gate A20 failure	キーボードコントローラ(システム基板)に障害があります。	「 困ったときは 」を参照してください。
General failure	オペレーティングシステムがコマンドを実行できません。	このメッセージの後は通常、問題を特定する情報が表示されます。適切な処置をとって、問題を解決します。
Hard-disk configuration error Hard-disk controller failure Hard-disk drive failure	ハードドライブの初期化に失敗しました。	システム診断プログラムを実行します。「 システム診断プログラムの実行 」を参照してください。 「システムのトラブルシューティング」の「 SATA ハードドライブのトラブルシューティング 」または「 SCSI ハードドライブのトラブルシューティング 」を参照してください。
Drive x not found: Serial (or Parallel) ATA, SATA-(or PATA)-n	x はドライブ番号(0~6)、n は SATA 0~4 または PATA 0~1 です。	システム診断プログラムを実行します。「 システム診断プログラムの実行 」を参照してください。 「システムのトラブルシューティング」の「 SATA ハードドライブのトラブルシューティング 」を参照してください。
Insert bootable media	オペレーティングシステムが起動用以外のディスクまたは CD から起動しようとしています。	起動用ディスクまたは CD を挿入します。
Invalid configuration information - please run SETUP program	システム設定情報がハードウェア構成と一致しません。	セットアップユーティリティを起動し、システム設定情報を修正します。詳細については、『ユーザーズガイド』を参照してください。
Keyboard Controller Failure Keyboard Stuck Key Failure Keyboard failure	ケーブルまたはコネクタに緩みがあるか、キーボードまたはキーボード / マウスコントローラが不良である可能性があります。	「システムのトラブルシューティング」の「 キーボードのトラブルシューティング 」を参照してください。
Memory address line failure at address, read value expecting value	メモリモジュールが不良か、正しく取り付けられていない可能性があります。	メモリモジュールを取り付けなおし、必要に応じてメモリモジュールを交換します。「システムのトラブルシューティング」の「 システムメモリのトラブルシューティング 」を参照してください。
Memory allocation error	実行しようとしているソフトウェアが、オペレーティングシステム、別のアプリケーションプログラム、またはユーティリティとコンフリクトしています。	システムの電源を切り、30 秒待ってから、システムを再起動して、再度そのソフトウェアを実行してみます。

		再度エラーメッセージが表示される場合は、そのソフトウェアのマニュアルを参照して、追加のトラブルシューティングを実行してください。
Memory data line failure at address, read value expecting value Memory double word logic failure at address, read value expecting value Memory odd/even logic failure at address, read value expecting value Memory write/read failure at address, read value expecting value	メモリモジュールが不良か、正しく取り付けられていない可能性があります。	メモリモジュールを取り付けなおし、必要に応じてメモリモジュールを交換します。「システムのトラブルシューティング」の「 システムメモリのトラブルシューティング 」を参照してください。
Memory size in CMOS invalid	システム設定情報に記録されているメモリ容量が、システムに取り付けられているメモリと一致しません。	システムを再起動します。再度エラーメッセージが表示される場合、「システムのトラブルシューティング」の「 システムメモリのトラブルシューティング 」を参照してください。問題が解決しない場合は、「 困ったときは 」を参照してください。
No boot device available	システムが起動用ディスクまたはハードドライブを検出できません。	ディスクドライブが起動デバイスの場合、起動用ディスクがドライブに挿入されていることを確認します。 ハードドライブが起動デバイスの場合、ハードドライブが正しく取り付けられていて、起動デバイスとしてパーティション分割されていることを確認します。 セットアップユーティリティを起動して、起動順序の情報を確認します。詳細については、『ユーザーズガイド』を参照してください。
No boot sector on hard-disk drive	セットアップユーティリティのシステム設定情報が正しくない可能性があります。	セットアップユーティリティを起動して、ハードドライブのシステム設定情報を確認します。詳細については、『ユーザーズガイド』を参照してください。 セットアップユーティリティで情報が正しいことを確認した後も同じメッセージが表示される場合、オペレーティングシステムが壊れている可能性があります。オペレーティングシステムを再インストールします。再インストールについての情報は、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。
No timer tick interrupt	システム基板のチップが誤動作している可能性があります。	システム診断プログラムを実行します。「 システム診断プログラムの実行 」を参照してください。
Non-system disk or disk error	ディスクドライブのディスクまたはハードドライブに起動可能なオペレーティングシステムがインストールされていません。	挿入してあるディスクを起動用ディスクに交換するか、ディスクを取り出してから、システムを再起動します。 問題が解決しない場合は、適切なハードドライブのトラブルシューティングの手順を参照します。「システムのトラブルシューティング」の「 SATA ハードドライブのトラブルシューティング 」または「 SCSI ハードドライブのトラブルシューティング 」を参照してください。 問題が解決しない場合は、「 困ったときは 」を参照してください。
Not a boot diskette	オペレーティングシステムが、起動可能なオペレーティングシステムがインストールされていないディスクから起動しようとしています。	起動用ディスクを挿入します。
Not enough memory or resources.Close some programs and try again	開いているプログラムの数が多すぎます。	すべてのウィンドウを閉じ、使用するプログラムのみを開きます。場合によっては、システムを再起動して、システムリソースを復元する必要があります。この場合、使用したいプログラムを最初に実行してみてください。
Operating system not found	オペレーティングシステムが見つかりません。	「 困ったときは 」を参照してください。
Please connect USB keyboard/mouse to USB ports on the back of the computer	キーボードとマウスのどちらかまたは両方が正しく接続されていません。	「 USB デバイスのトラブルシューティング 」を参照してください。
Plug and play configuration error	接続されたデバイスが正しく設定されていません。	「 システムのトラブルシューティング 」を参照してください。
Read fault	オペレーティングシステムがディスクドライブまたはハードドライブからデータを読み取れません。ディスク上の特定のセクターが見つからなかったか、要求されたセクターが不良です。	「システムのトラブルシューティング」の「 SATA ハードドライブのトラブルシューティング 」または「 SCSI ハードドライブのトラブルシューティング 」を参照してください。
Requested sector not found	オペレーティングシステムがディスクドライブまたはハードドライブからデータを読み取れません。ディスク上の特定のセクターが見つからなかったか、要求されたセクターが不良です。	「システムのトラブルシューティング」の「 ディスクドライブのトラブルシューティング 」、「 SATA ハードドライブのトラブルシューティング 」または「 SCSI ハードドライブのトラブルシューティング 」を参照してください。
Reset failed	ディスクリセットの処理が失敗しました。	「システムのトラブルシューティング」の「 ディスクドライブのトラブルシューティング 」、「 SATA ハードドライブのトラブルシューティング 」または「 SCSI ハードドライブのトラブルシューティング 」を参照してください。
Sector not found	ディスクドライブまたはハードドライブの不良です。	「システムのトラブルシューティング」の「 ディスクドライブのトラブルシューティング 」、「 SATA ハードドライブのトラブルシューティング 」または「 SCSI ハードドライブのトラブルシューティング 」を参照してください。
Seek error		
Shutdown failure	システム基板のチップが誤動作している可能性があります。	システム診断プログラムを実行します。「 システム診断プログラムの実行 」を参照してください。

The file being copied is too large for the destination drive	コピーしようとしているファイルは、ディスクに保存するには大きすぎます。	ファイルを空のディスクにコピーするか、容量の大きなディスクを使用します。
Time-of-day clock stopped	バッテリー不良の可能性があります。	「システムのトラブルシューティング」の「 システムバッテリーのトラブルシューティング 」を参照してください。
Time-of-day not set	セットアップユーティリティで設定した時刻または日付がシステムの時計と一致しません。	セットアップユーティリティを起動し、Date および Time オプションを修正します。詳細については、『ユーザーズガイド』を参照してください。問題が解決しない場合、「システムのトラブルシューティング」の「 システムバッテリーのトラブルシューティング 」を参照してください。
Timer chip counter 2 failed	システム基板のチップが誤動作している可能性があります。	システム診断プログラムを実行します。「 システム診断プログラムの実行 」を参照してください。
NOTICE:The [primary/secondary/primary serial] IDE [master/slave] hard drive SELF MONITORING SYSTEM has reported that a parameter has exceeded its normal operating range.Dell recommends that you back up your data regularly.A parameter out of range may or may not indicate a potential hard drive problem.	初期起動中に、ドライブがエラー発生の可能性を検出しました。	システムが起動を完了したら、ただちにデータのバックアップをとり、ハードドライブを交換します。「 ドライブの取り付け 」の「 SATA または SCSI ハードドライブの取り付け 」を参照してください。 すぐに利用できる交換用のドライブがなく、そのドライブが唯一の起動ドライブではない場合、セットアップユーティリティを起動し、該当するドライブの設定を Off に変更します。詳細については、『ユーザーズガイド』を参照してください。設定変更後、ハードドライブをシステムから取り外します。
Write fault	オペレーティングシステムがディスクドライブまたはハードドライブにデータを書き込めません。	「システムのトラブルシューティング」の「 ディスクドライブのトラブルシューティング 」、 「SATA ハードドライブのトラブルシューティング」 、または「 SCSI ハードドライブのトラブルシューティング 」を参照してください。
Write fault on selected drive	オペレーティングシステムがディスクドライブまたはハードドライブにデータを書き込めません。	「システムのトラブルシューティング」の「 ディスクドライブのトラブルシューティング 」、 「SATA ハードドライブのトラブルシューティング」 、または「 SCSI ハードドライブのトラブルシューティング 」を参照してください。
x:\ is not accessible. The device is not ready	ディスクドライブがディスクからデータを読み取れません。	ドライブにディスクを入れ、もう一度試してみます。

システムビーブコード

POST 実行中に、画面に表示できないエラーが発生すると、システムが問題を識別するための連続ビーブ音を鳴らすことがあります。

 **メモ:** システムにキーボード、マウス、またはモニタを取り付けずに起動しても、システムはこれらの周辺機器に関連したビーブ音を鳴らしません。

連続してビーブ音が鳴った場合は、そのビーブコードを書き留め、[表 2-6](#) を参照して、その意味を確認します。ビーブコードの意味を調べても問題を解決できない場合は、システム診断プログラムを使って、原因を識別してください。それでも問題を解決できない場合は、「[困ったときは](#)」を参照してください。


表 2-6 サーバーモジュールのビーブコード

コード	原因	対応処置	
1-1-2	CPU レジスタテストエラー	「システムのトラブルシューティング」の「 プロセッサのトラブルシューティング 」を参照してください。	
1-1-3	CMOS の読み取り / 書き込みエラー、システム基板の障害		
1-1-4	BIOS チェックサム障害		
1-2-1	プログラム可能インターバルタイマーエラー、システム基板の障害		
1-2-2	DMA 初期化エラー		「システムのトラブルシューティング」の「 システムメモリのトラブルシューティング 」を参照してください。
1-2-3	DMA ページレジスタ読み / 書きエラー		
1-3-1	メインメモリアドレス検証エラー		
1-3-2	メモリが取り付けられていない		
1-3-3	メインメモリの最初の 64 KB でのチップまたはデータラインのエラー		
1-3-4	メインメモリの最初の 64 KB での奇数 / 偶数論理エラー		
1-4-1	メインメモリの最初の 64 KB でのアドレスラインエラー		
1-4-2	メインメモリの最初の 64 KB でのパリティエラー		
1-4-3	フェールセーフタイマーテストエラー		
1-4-4	ソフトウェア NMI ポートテストエラー		
2-1-1~2-4-4	メインメモリの最初の 64 KB でのビットエラー	システム基板に障害があります。「 困ったときは 」を参照してください。	
3-1-1	スレープ DMA レジスタエラー		
3-1-2	マスター DMA レジスタエラー		

3-1-3	マスター割り込みマスクレジスタエラー	
3-1-4	スレーブ割り込みマスクレジスタエラー	
3-2-2	割り込みベクトルロードエラー	
3-2-4	キーボードコントローラテスト障害	
3-3-1	CMOS エラー	
3-3-2	システム設定チェックエラー	
3-3-3	キーボードコントローラが検出されない	
3-3-4	ビデオメモリテストエラー	
3-4-1	画面の初期化エラー	
3-4-2	画面のリトレーステストエラー	
3-4-3	ビデオ ROM 検索エラー	
4-2-1	タイマー動作なし	
4-2-2	シャットダウンテストエラー	
4-2-3	ゲート A20 のエラー	
4-2-4	プロテクトモードで予期しない割り込み発生	「システムのトラブルシューティング」の「 拡張カードのトラブルシューティング 」を参照してください。
4-3-1	メモリモジュールに障害があるか、または取り付けが正しくない	「システムのトラブルシューティング」の「 システムメモリのトラブルシューティング 」を参照してください。
4-3-2	最初のメモリモジュールコネクタにメモリモジュールが取り付けられていない	メモリモジュールを最初のメモリモジュールコネクタに取り付けます。「システムオプションの取り付け」の「 メモリモジュールの取り付け 」および「 メモリモジュール取り付けガイドライン 」を参照してください。
4-3-3	システム基板の障害	システム基板に障害があります。「 困ったときは 」を参照してください。
4-3-4	内部時計が停止	「システムのトラブルシューティング」の「 システムバッテリーのトラブルシューティング 」を参照してください。問題が解決しない場合は、「 困ったときは 」を参照してください。
4-4-1	スーパー I/O チップエラー、システム基板の障害	システム基板に障害があります。「 困ったときは 」を参照してください。
4-4-4	キャシュテストエラー、プロセッサの障害	「システムのトラブルシューティング」の「 プロセッサのトラブルシューティング 」を参照してください。

警告メッセージ

警告メッセージは、問題発生の可能性のあることを知らせ、作業を続行する前に対応策をとるよう求めます。たとえば、ディスクをフォーマットする前に、ディスク上のすべてのデータが失われるおそれがあることを警告するメッセージが表示されることがあります。警告メッセージは、通常、処理を中断して、y(はい)またはn(いいえ)を入力して応答することを要求します。

 **メモ:** 警告メッセージは、アプリケーションプログラムまたはオペレーティングシステムによって生成されます。詳細については、オペレーティングシステムまたはアプリケーションプログラムに付属のマニュアルを参照してください。

診断メッセージ

システム診断プログラムを実行すると、エラーメッセージが表示されることがあります。診断エラーメッセージは、本項には記載されていません。「[困ったときは](#)」の診断チェックリストのコピーにメッセージを記録してから、該当する項を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。

アラートメッセージ

システム管理ソフトウェアは、システムのアラートメッセージを生成します。アラートメッセージには、ドライブ、温度、ファン、および電源の状態についての情報、ステータス、警告、およびエラーメッセージが含まれます。詳細については、システム管理ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

[メモ、注意および警告](#)

[メモ、注意および警告](#)

システム診断プログラムの実行

Dell™ PowerEdge™ SC430 システム インストール & トラブルシューティングガイド

- [Server Administrator 診断プログラムの使い方](#)
- [システム診断プログラムの機能](#)
- [システム診断プログラムの実行が必要な場合](#)
- [システム診断プログラムの実行](#)
- [システム診断プログラムのテストオプション](#)
- [カスタムテストオプションの使い方](#)

システムに問題が発生した場合、テクニカルサポートに電話される前に診断プログラムを実行してください。診断プログラムを使うと、特別な装置を使用したりデータを失ったりすることなく、システムのハードウェアをテストすることができます。ご自身で問題を解決できない場合でも、サービスおよびサポート担当者が診断プログラムのテスト結果を使って問題解決の手助けを行うことができます。

Server Administrator 診断プログラムの使い方

システムの問題を分析するには、オンライン Server Administrator 診断プログラムを最初に使用します。問題を識別できない場合は、システム診断プログラムを使用します。

オンラインの診断プログラムにアクセスするには、Server Administrator のホームページへログインし、Diagnostics タブをクリックします。診断プログラムの使い方については、オンラインヘルプを参照してください。詳細については、『Server Administrator ユーザーズガイド』を参照してください。

システム診断プログラムの機能

システム診断プログラムは、特定のデバイスグループや各デバイス用の一連のテストメニューとオプションで構成されています。システム診断プログラムのメニューとオプションを使って、以下のことが行えます。

- 1 テストを個別または全体的に実行する。
- 1 テストの順番を制御する。
- 1 テストを繰り返す。
- 1 テスト結果を表示、印刷、または保存する。
- 1 エラーが検出された場合にテストを一時的に中断、またはユーザーが指定する最大エラー数に達したときにテストを終了する。
- 1 各テストとそのパラメータを簡潔に説明するヘルプメッセージを表示する。
- 1 テストが問題なく終了したかどうかを知らせるステータスメッセージを表示する。
- 1 テスト中に発生した問題を通知するエラーメッセージを表示する。

システム診断プログラムの実行が必要な場合

システム内の主要コンポーネントまたはデバイスが正しく動作していない場合、コンポーネントの障害が表示されることがあります。システムのプロセッサとシステムの I/O デバイス(モニタ、キーボード、およびオプションのディスクドライブ)が動作していれば、システム診断プログラムを使用して、簡単に問題を識別することができます。


システム診断プログラムの実行

システム診断プログラムは、ハードドライブのユーティリティパーティションから実行されます。

- **注意:** システム診断プログラムは、お使いのシステムをテストする場合にのみ使用してください。このプログラムを他のシステムで使用すると、無効な結果やエラーメッセージが表示される場合があります。また、お使いのシステムに付属のプログラム(またはそのプログラムのアップデートバージョン)のみを使用してください。

1. システム起動時の POST 実行中に <F10> を押します。
2. ユーティリティパーティションのメインメニューで、Run System Diagnostics を選択します。または、メモリのトラブルシューティングを行う場合は、Run Memory Diagnostics を選択します。

システム診断プログラムを起動すると、診断プログラムの初期化中であることを知らせるメッセージが表示されます。次に、Diagnostics メニューが表示されます。このメニューは、特定の診断テストまたは全診断テストの実行や、システム診断プログラムの終了に使用します。

 **メモ:** 以下の説明は、実際にシステム診断プログラムを起動し、内容を画面で確認しながらお読みください。

システム診断プログラムのテストオプション

Main Menu ウィンドウでテストオプションをクリックします。[表 3-1](#) にテストオプションの簡単な説明を示します。

表 3-1 システム診断プログラムのテストオプション

テストオプション	機能
Express Test	システムのクイックチェックを実行します。このオプションでは、ユーザーの応答を必要としないデバイステストを実行します。このオプションは、問題の原因をすばやく識別したいときに使用します。
Extended Test	システムを詳細にチェックします。このテストの実行には 1 時間以上かかる場合があります。
Custom Test	特定のデバイスをテストします。
Information	テスト結果を表示します。

カスタムテストオプションの使い方

Main Menu ウィンドウで Custom Test を選択すると、Customize ウィンドウが表示されてテストするデバイスを選択できるようになります。希望のテストオプションを選択して、テスト結果を表示します。

テストするデバイスの選択

Customize ウィンドウの左側にはテスト可能なデバイスの一覧が表示されます。デバイスは、選択するオプションに応じて、デバイスタイプ別またはモジュール別にまとまっています。デバイスまたはモジュールの横にある (+) をクリックすると、各コンポーネントが表示されます。各コンポーネントの横にある (+) をクリックすると、利用可能なテストが表示されます。コンポーネントではなくデバイスをクリックすると、テストするデバイスのすべてのコンポーネントが選択できます。

診断オプションの選択

Diagnostics Options 領域で、デバイスをテストする方法が選択できます。以下のオプションが選択可能です。

- 1 Non-Interactive Tests Only — このオプションを選択すると、ユーザーの操作を必要としないテストだけが実行されます。
- 1 Quick Tests Only — このオプションを選択すると、デバイスのクイックテストだけが実行されます。このオプションでは詳細なテストは実行されません。

情報および結果の表示

Customize ウィンドウのタブを使って、テストとテスト結果についての情報を表示することができます。以下のタブが利用できます。

- 1 Results — 実行されたテストとその結果を表示します。
- 1 Errors — テスト中に起こったエラーを表示します。
- 1 Help — 現在選択されているデバイス、コンポーネント、またはテストに関する情報を表示します。
- 1 Configuration — 現在選択されているデバイスの基本設定に関する情報を表示します。
- 1 Parameters — 該当する場合、そのテストで設定可能なパラメータを表示します。

[メモ、注意および警告](#)

システムのトラブルシューティング

Dell™ PowerEdge™ SC430 システム インストール & トラブルシューティングガイド

- [作業にあたっての注意](#)
- [起動ルーチン](#)
- [周辺機器のチェック](#)
- [外部接続のトラブルシューティング](#)
- [基本的な I/O 機能のトラブルシューティング](#)
- [NIC のトラブルシューティング](#)
- [システムカバーを開く](#)
- [システムカバーの取り付け](#)
- [システムの内部](#)
- [システムが濡れた場合のトラブルシューティング](#)
- [システムが損傷した場合のトラブルシューティング](#)
- [システムバッテリーのトラブルシューティング](#)
- [電源装置のトラブルシューティング](#)
- [システム冷却問題のトラブルシューティング](#)
- [システムメモリのトラブルシューティング](#)
- [ディスクドライブのトラブルシューティング](#)
- [CD ドライブのトラブルシューティング](#)
- [IDE テープドライブのトラブルシューティング](#)
- [内蔵 SCSI テープドライブのトラブルシューティング](#)
- [SCSI ハードドライブのトラブルシューティング](#)
- [SATA ハードドライブのトラブルシューティング](#)
- [拡張カードのトラブルシューティング](#)
- [プロセッサのトラブルシューティング](#)

作業にあたっての注意

本書に記載されている手順のいくつかは、システムカバーを取り外してシステム内部の作業を行う必要があります。システム内部の作業中は、本書およびシステムマニュアルで説明されている以外の作業を行わないでください。

警告： システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。

起動ルーチン

システムの起動ルーチン中に目と耳を使って確認する事項を、[表 4-1](#)に示します。

表 4-1 起動ルーチンでの確認事項

目と耳による確認内容	対応処置
モニタに表示されるエラーメッセージ	「インジケータ、メッセージ、およびコード」の「 システムメッセージ 」を参照してください。
システムが鳴らす一連のビーブ音	「インジケータ、メッセージ、およびコード」の「 システムビーブコード 」を参照してください。
モニタの電源インジケータ	「 ビデオサブシステムのトラブルシューティング 」を参照してください。
キーボードインジケータ	「 キーボードのトラブルシューティング 」を参照してください。
ディスクドライブ (オプション) 動作インジケータ	「 ディスクドライブのトラブルシューティング 」を参照してください。
CD ドライブ動作インジケータ	「 CD ドライブのトラブルシューティング 」を参照してください。
ハードドライブ動作インジケータ	「 SCSI ハードドライブのトラブルシューティング 」または「 SATA ハードドライブのトラブルシューティング 」を参照してください。
ドライブアクセス中に聞こえる聞き慣れない一定したこするような音	「 困ったときは 」を参照してください。

周辺機器のチェック

本項では、システムに接続する外付けデバイス (モニタ、キーボード、マウスなど) のトラブルシューティング手順について説明します。手順を実行する前に、[外部接続のトラブルシューティング](#)」を参照してください。

IRQ 割り当てコンフリクトのトラブルシューティング

ほとんどの PCI デバイスは IRQ を他のデバイスと共有できますが、同じ IRQ を同時に使用することはできません。このようなコンフリクトを回避するには、特定の IRQ 要件について、各 PCI デバイスのマニュアルを参照してください。[表 4-2](#) に、IRQ 割り当ての一覧を示します。

表 4-2 デフォルトの IRQ 割り当て

IRQライン	割り当て
IRQ0	システムタイマー
IRQ1	キーボードコントローラ
IRQ2	IRQ8~IRQ15 を有効にする割り込みコントローラ 1
IRQ3	シリアルポート 2 (COM2 および COM4)
IRQ4	シリアルポート 1 (COM1 および COM3)
IRQ5	リモートアクセスコントローラ
IRQ6	ディスクドライブ (オプション) コントローラ
IRQ8	リアルタイムクロック
IRQ9	ACPI 機能 (電源管理で使用)
IRQ10	使用可能
IRQ11	使用可能
IRQ13	数値演算コプロセッサ
IRQ14	IDE CD ドライブコントローラ
IRQ15	使用可能

外部接続のトラブルシューティング

システム、モニタ、その他の周辺機器 (プリンタ、キーボード、マウス、またはその他の外付けデバイスなど) の問題のほとんどは、ケーブルの緩みや接続の誤りが原因で起こります。すべての外部ケーブルがシステムの外部コネクタにしっかりと接続されていることを確認します。システムの正面パネルのコネクタについては [図 2-1](#) を、背面パネルのコネクタについては [図 2-2](#) を参照してください。

ビデオサブシステムのトラブルシューティング

問題

- 1 モニタが正常に動作していない。

対応処置

1. モニタとシステム、およびモニタと電源の接続を確認します。
2. 適切なオンライン診断テストを実行します。「システム診断プログラムの実行」の「[Server Administrator 診断プログラムの使い方](#)」を参照してください。
テストが正常に終了したら、問題はビデオハードウェアに関連するものではありません。
テストが失敗した場合は、「[困ったときは](#)」を参照してください。

キーボードのトラブルシューティング

問題

- 1 システムメッセージがキーボードに問題があることを示している。
- 1 キーボードが正常に機能していない。

対応処置

1. 適切なオンライン診断テストを実行します。「システム診断プログラムの実行」の「[Server Administrator 診断プログラムの使い方](#)」を参照してください。

2. キーボードおよびキーボードケーブルに損傷がないか調べます。
3. 障害のあるキーボードを正常なキーボードと取り替えます。
これで問題が解決した場合は、障害のあるキーボードを交換します。「[困ったときは](#)」を参照してください。
4. セットアップユーティリティを起動し、USB ポートが有効になっていることを確認します。『ユーザーズガイド』の「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。
問題が解決しない場合は、「[困ったときは](#)」を参照してください。

マウスのトラブルシューティング

問題

1. システムメッセージがマウスに問題があることを示している。
1. マウスが正常に機能していない。

対応処置

1. 適切なオンライン診断テストを実行します。「システム診断プログラムの実行」の「[Server Administrator 診断プログラムの使い方](#)」を参照してください。
テストが失敗した場合は、次の手順に進みます。
 2. マウスおよびマウスケーブルに損傷がないか調べます。
マウスに損傷がない場合は、[手順 4](#) に進みます。
マウスに損傷がある場合は、次の手順に進みます。
 3. 障害のあるマウスを正常なマウスと交換します。
これで問題が解決した場合は、障害のあるマウスを交換します。「[困ったときは](#)」を参照してください。
 4. セットアップユーティリティを起動し、USB ポートが有効になっていることを確認します。『ユーザーズガイド』の「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。
問題が解決しない場合は、「[困ったときは](#)」を参照してください。
-

基本的な I/O 機能のトラブルシューティング

問題

1. エラーメッセージが、シリアルポートに問題があることを示している。
1. シリアルポートに接続されたデバイスが正しく動作していない。

対応処置

1. セットアップユーティリティを起動し、シリアルポートが有効になっていることを確認します。『ユーザーズガイド』の「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。
2. 問題が特定のアプリケーションだけで発生する場合は、そのアプリケーションのマニュアルを参照して、そのプログラムに必要な特定のポート設定を確認します。
3. 適切なオンライン診断テストを実行します。「システム診断プログラムの実行」の「[Server Administrator 診断プログラムの使い方](#)」を参照してください。
テストが正常に実行されるにもかかわらず問題が解決しない場合は、「[困ったときは](#)」を参照してください。

USB デバイスのトラブルシューティング

問題

- 1 システムメッセージが USB デバイスに問題があることを示している。
- 1 USB ポートに接続されたデバイスが正しく動作していない。

対応処置

1. セットアップユーティリティを起動し、USB ポートが有効になっていることを確認します。『ユーザーズガイド』の「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。
2. システムとすべての USB デバイスの電源を切ります。
3. USB デバイスを取り外し、誤動作しているデバイスを別の USB コネクタに接続します。
4. システムおよび再接続したデバイスの電源を入れます。

これで問題が解決した場合は、USB コネクタが不良である可能性があります。「[困ったときは](#)」を参照してください。

5. 可能であれば、インタフェースケーブルを動作確認済みのケーブルと交換します。

これで問題が解決した場合は、インタフェースケーブルを交換します。「[困ったときは](#)」を参照してください。

6. システムと USB デバイスの電源を切り、デバイスを同種のデバイスと取り替えます。

7. システムと USB デバイスの電源を入れます。

これで問題が解決した場合は、USB デバイスを交換します。「[困ったときは](#)」を参照してください。

問題が解決しない場合は、「[困ったときは](#)」を参照してください。

NIC のトラブルシューティング

問題

- 1 NIC がネットワークと通信できない。

対応処置

1. 適切なオンライン診断テストを実行します。「システム診断プログラムの実行」の「[Server Administrator 診断プログラムの使い方](#)」を参照してください。

2. NIC コネクタの該当するインジケータを確認します。「インジケータ、メッセージ、およびコード」の「[NIC インジケータコード](#)」を参照してください。

- 1 リンクインジケータが点灯しない場合は、すべてのケーブル接続を確認します。

- 1 動作インジケータが点灯しない場合は、ネットワークドライバファイルが損傷しているか、削除された可能性があります。適切なドライバがインストールされ、プロトコルが組み込まれていることを確認します。NIC のマニュアルを参照してください。

該当するドライバを削除してから、再インストールします。NIC のマニュアルを参照してください。

- 1 可能であれば、オートネゴシエーション設定を変更します。

- 1 スイッチまたはハブの別のコネクタを使用します。

内蔵 NIC の代わりに NIC カードを使用している場合は、NIC カードのマニュアルを参照してください。

3. セットアップユーティリティを起動し、NIC が有効になっていることを確認します。『ユーザーズガイド』の「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。

4. ネットワーク上の NIC、ハブ、およびスイッチが、すべて同じデータ転送速度に設定されていることを確認します。ネットワーク装置のマニュアルを参照してください。

5. すべてのネットワークケーブルのタイプが適切で、最大長を超えていないことを確認します。「I/O コネクタ」の「[ネットワークケーブルの要件](#)」を参照してください。

問題が解決しない場合は、「[困ったときは](#)」を参照してください。

システムカバーを開く

⚠ 警告: システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。

1. システムおよび接続されている周辺機器の電源を切り、システムを電源コンセントから外します。
2. 電源ボタンを押して、システム基板の電気を逃がします。
3. 背面パネルのバドロックリングにバドロックを取り付けている場合は、バドロックを外します。
4. システム本体を、[図 4-1](#) に示すように、側面を下にして置きます。
5. システムカバーのリリースタブをシステムの後方へスライドさせ、カバーを持ち上げて開けます。

システムカバーの取り付け

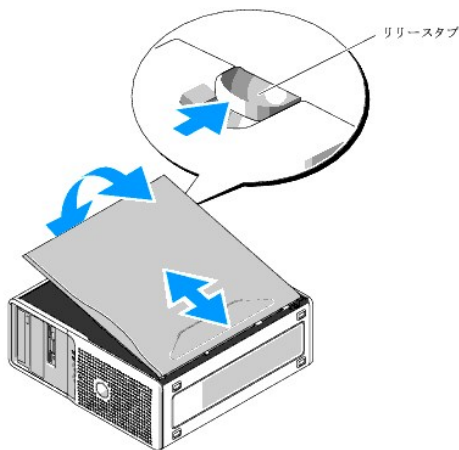
1. すべての内部ケーブルが確実に接続され、ケーブルが邪魔にならないように束ねられているか確認します。
2. システム内部に工具や余分な部品が残っていないことを確認します。
3. システムカバーを元どおりに取り付けます。
 - a. カバーの下端をシステムシャーシの低面に挿入します。[図 4-1](#) を参照してください。
 - b. カバーのリリースタブがカチッと所定の位置に装着されるまで、カバーを押し下げます。
4. 必要に応じて、バドロックを取り付けます。
5. 電源ケーブルをコンセントに差し込んで、システムと周辺機器の電源を入れます。

シャーシイントルージョンディテクトを有効にしている場合、カバーを開けて閉じると、次回のシステム起動時に次のメッセージが画面に表示されます。

```
ALERT! Cover was previously removed.
```
6. シャーシイントルージョンディテクトをリセットするには、<Enter> を押します。詳細については、『ユーザーズガイド』を参照してください。

メモ: だれか他の人がセットアップパスワードを設定した場合は、シャーシイントルージョンディテクトをリセットするときにネットワーク管理者に連絡してください。

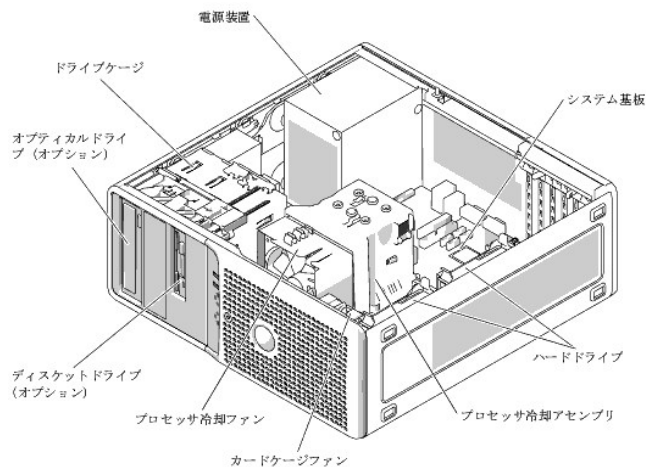
図4-1 システムカバーの開閉



システムの内部

[図 4-2](#) は、システムカバーを開いた状態のシステム内部の配置図です。

図4-2 システムの内部



システム基板には、1 台のプロセッサ、5 枚の拡張カード(5 V ハーフレングス 32 ビット、33 MHz PCI × 2、2.5 Gb/ 秒 PCIe [x4] × 1、2.5 Gb/ 秒 PCIe [x8] × 1、2.5 Gb/ 秒 PCIe [x8] × 1)、4 つの 533 MHz バッファなし ECC DDR II シングルランクまたはデュアルランクのメモリモジュールを搭載することができます。

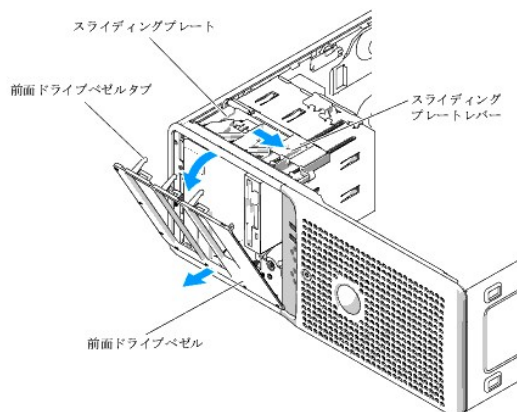
ドライブベイには最大 2 台の 1 インチハードドライブを取り付けるスペースがあります。SATA ハードドライブは内蔵コントローラに接続し、SCSI ハードドライブはコントローラカードに接続する必要があります。オプションのオプティカルドライブやディスクドライブ、またはオプションのテープバックアップユニット(TBU)を取り付けることもできます。電力は、単一の非冗長電源装置を経由してシステム基板、および内蔵周辺機器に供給されます。

前面ドライブベゼルの取り外しと取り付け

警告: システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。

1. システムカバーを開きます。「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
- メモ:** スライディングプレートはドライブベゼルを留めたり外したりするほか、ドライブも固定します。
2. 前面ドライブベゼルが両側のヒンジから外れるまで、スライディングプレートレバーを右に引きます。
3. [図 4-3](#) に示すように、前面ドライブベゼルの慎重に傾けて持ち上げ、シャーシから外します。
4. 前面ドライブベゼルを取り付ける場合は、上の手順を逆に実行し、ベゼルのカチッと所定の位置に収めます。

図 4-3 前面ドライブベゼルの取り外しと取り付け

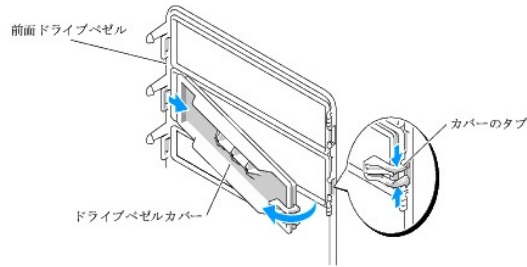


前面ドライブベゼルカバーの取り外しと取り付け

1. 前面ドライブベゼルカバーを取り外すには、前面ドライブベゼルカバーの 2 つのタブを内側に押し、カバーを持ち上げて外します。

2. 前面ドライブベゼルカバーを取り付ける場合は、上の手順を逆に実行し、カバーをカチッと所定の位置に収めます。

図4-4 前面ドライブベゼルカバーの取り外しと取り付け



システムが濡れた場合のトラブルシューティング

問題

- 1 システムに液体をこぼした。
- 1 湿度が高すぎる。

対応処置

⚠ 警告: システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。

1. システムおよび接続されている周辺機器の電源を切り、システムを電源コンセントから外します。
2. システムカバーを開きます。「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
3. システムに取り付けられている拡張カードをすべて取り外します。「システムオプションの取り付け」の「[拡張カードの取り外し](#)」を参照してください。
4. システムを完全に乾燥させます (少なくとも 24 時間)。
5. システムカバーを閉じます。「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。
6. 電源ケーブルをコンセントに差し込んで、システムと周辺機器の電源を入れます。
システムが正常に起動しない場合は、「[困ったときは](#)」を参照してください。
7. システムが正常に起動する場合は、システムをシャットダウンして、取り外した拡張カードを取り付けます。「システムオプションの取り付け」の「[拡張カードの取り付け](#)」を参照してください。
8. 適切なオンライン診断テストを実行します。「システム診断プログラムの実行」の「[Server Administrator 診断プログラムの使い方](#)」を参照してください。
テストが失敗した場合は、「[困ったときは](#)」を参照してください。

システムが損傷した場合のトラブルシューティング

問題

- 1 システムを落下させた、または損傷を与えた。

対応処置

⚠ 警告: システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。

1. システムカバーを開きます。「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
2. 以下のコンポーネントが正しく取り付けられていることを確認します。
 - 1 拡張カード
 - 1 電源装置
 - 1 ファン
 - 1 オプションとして取り付けられたドライブ
 - 1 プロセッサヒートシンク
3. すべてのケーブルが正しく接続されていることを確認します。
4. システムカバーを閉じます。「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。
5. システム診断プログラムでシステム基板のテストを実行します。「[システム診断プログラムの実行](#)」を参照してください。
テストが失敗した場合は、「[システムのトラブルシューティング](#)」を参照してください。

システムバッテリーのトラブルシューティング

問題

- 1 システムメッセージがバッテリーに問題があることを示している。
- 1 セットアップユーティリティからシステム設定情報が消える。
- 1 システムの日時が正しく維持できない。

📌 メモ: 長い期間(数週間から数か月)システムの電源が切られていた場合、NVRAM からシステム設定情報が失われる可能性があります。これはバッテリーの消耗が原因です。

システムの設定、日付、時間の情報はコイン型バッテリーによって保持されます。このバッテリーは数年使い続けることが可能です。システム起動後に、何度も時刻と日付の情報をリセットしなければならないような場合、または以下のメッセージが表示される場合は、バッテリーを交換します。「システムオプションの取り付け」の「[バッテリーの交換](#)」を参照してください。

```
Time-of-day not set - please run SETUP program
```

または

```
Invalid configuration information -  
please run SETUP program
```

または

```
Battery voltage is low
```

バッテリーがなくてもシステムは動作しますが、電源をオフにしたり、コンセントから電源ケーブルを抜いたりした場合、設定情報が消去されます。この場合、セットアップユーティリティを起動して、セットアップ項目を再設定しなければなりません。

⚠ 警告: 新しいバッテリーは、正しく取り付けられていないと、破裂する危険があります。交換バッテリーには、メーカーが推奨する型、または同等の製品を使用してください。使用済みのバッテリーは、メーカーの指示に従って廃棄してください。

対応処置

1. セットアップユーティリティで時刻と日付を再入力します。『ユーザーズガイド』の「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。
2. システムの電源を切り、少なくとも1時間は電源ケーブルをコンセントから抜いておきます。
3. 電源ケーブルをコンセントに接続し、システムの電源を入れます。
4. セットアップユーティリティを起動します。

セットアップユーティリティの日付と時刻が正しくない場合は、バッテリーを交換します。「システムオプションの取り付け」の「[システムバッテリー](#)」を参照してください。

バッテリーを交換しても問題が解決しない場合は、「[困ったときは](#)」を参照してください。

📌 メモ: 一部のソフトウェアには、システムの時刻を進めたり遅らせたりするものがあります。セットアップユーティリティ内に保持されている時刻以外にはシステムが正常に動作している場合、問題の原因はバッテリーの不良ではなく、ソフトウェアにあると考えられます。

電源装置のトラブルシューティング

問題

- 1 電源装置の障害インジケータが黄色に点滅している。

対応処置


 **警告:** システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。

1. システムおよび接続されている周辺機器の電源を切り、システムを電源コンセントから外します。
2. システムカバーを開きます。「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
3. システム基板の AUX_PWR_LED 電源インジケータの位置を確認します。[図 A-3](#) を参照してください。


AUX_PWR_LED インジケータが点灯している場合は、電源が正常に供給されています。次の手順に進みます。

AUX_PWR_LED インジケータが点灯していない場合は、故障した電源装置を取り外します。「システムオプションの取り付け」の「[電源装置の取り外し](#)」を参照してください。

4. システムの背面パネルで電圧選択スイッチの設定が適切か確認します。「インジケータ、メッセージ、およびコード」の「[電源装置の機能](#)」を参照してください。

 **注意:** 電圧選択スイッチの設定が不適切な場合は、システムを損傷するおそれがあります。

5. 電源装置をいったん取り外してから取り付けなおし、正しく取り付けられていることを確認します。「システムオプションの取り付け」の「[電源装置の取り付け](#)」を参照してください。

 **メモ:** 電源装置を取り付けたら、システムが電源装置を認識して動作状態を確認するまで数秒待ちます。電源インジケータが緑色に点灯すれば、電源装置は適切に機能しています。

6. これで問題が解決した場合は、システムカバーを閉じます。「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。
問題が解決しない場合は、障害のある電源装置を取り外します。「システムオプションの取り付け」の「[電源装置の取り外し](#)」を参照してください。
7. 新しい電源装置を取り付けます。「システムオプションの取り付け」の「[電源装置の取り付け](#)」を参照してください。
問題が解決しない場合は、「[困ったときは](#)」を参照してください。

システム冷却問題のトラブルシューティング

問題

- 1 システムメッセージがファンに関連したエラーメッセージを示している。

対応処置

以下のことを確認してください。

- 1 室温が高すぎないこと。システム温度の許容範囲については、『ユーザーズガイド』を参照してください。
- 1 周辺の空気の流れが遮断されていないこと。
- 1 システム内部のケーブルが空気の流れを遮断していないこと。
- 1 冷却ファンが故障していないこと。「[ファンのトラブルシューティング](#)」を参照してください。

ファンのトラブルシューティング


問題

- 1 システムステータスインジケータが黄色になっている。
- 1 システムメッセージがファンに関連したエラーメッセージを示している。

対応処置

⚠ 警告: システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。

1. 適切な診断テストを実行します。「システム診断プログラムの実行」の「Server Administrator 診断プログラムの使い方」を参照してください。
2. システムカバーを開きます。「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
3. 問題のあるファンの電源ケーブルが確実にファンの電源コネクタに接続されているか確認します。「システムオプションの取り付け」の「[冷却ファン](#)」を参照してください。

 **メモ:** システムがファンを認識して正常に動作していることを確認するまで 30 秒待ちます。

4. 問題が解決しない場合は、新しいファンを取り付けます。「システムオプションの取り付け」の「[冷却ファン](#)」を参照してください。

交換したファンが正常に動作している場合は、システムを閉じます。「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。

交換したファンが動作しない場合は、「[困ったときは](#)」を参照してください。

システムメモリのトラブルシューティング

問題

- 1 メモリモジュールに障害がある。
- 1 システム基板に障害がある。
- 1 診断インジケータまたはシステムメッセージがメモリに関連したエラーを示している。

対応処置


⚠ 警告: システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。

1. 適切なオンライン診断テストを実行します。「システム診断プログラムの実行」の「[Server Administrator 診断プログラムの使い方](#)」を参照してください。
2. システムと周辺機器の電源を入れます。
3. セットアップユーティリティを起動して、システムメモリの設定を確認します。『ユーザーズガイド』の「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。
4. システムおよび接続されている周辺機器の電源を切り、システムを電源コンセントから外します。
5. システムカバーを開きます。「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
6. メモリバンクにメモリが正しく装着されていることを確認します。「システムオプションの取り付け」の「[メモリモジュール取り付けガイドライン](#)」を参照してください。
メモリモジュールが正しく装着されている場合は、次の手順に進みます。
7. 各メモリモジュールをソケットに装着し直します。「システムオプションの取り付け」の「[メモリモジュールの取り付け](#)」を参照してください。
8. システムカバーを閉じます。「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。
9. 電源ケーブルをコンセントに差し込んで、システムと周辺機器の電源を入れます。
10. セットアップユーティリティを起動して、システムメモリの設定を確認します。『ユーザーズガイド』の「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。

取り付けしているメモリの容量がシステムメモリの設定に一致していない場合は、次の手順を実行します。

- a. システムおよび接続されている周辺機器の電源を切り、システムを電源コンセントから外します。

- b. システムカバーを開きます。「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。

 **メモ:** メモリモジュールには複数の構成方法があります。「システムオプションの取り付け」の「[メモリモジュール取り付けガイドライン](#)」を参照してください。

- c. バンク 1 のメモリモジュールを同じ容量のものと交換します。「システムオプションの取り付け」の「[メモリモジュールの取り付け](#)」を参照してください。
- d. システムカバーを閉じます。「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。
- e. 電源ケーブルをコンセントに差し込んで、システムと周辺機器の電源を入れます。
- f. システムの起動中は、モニタ画面およびシステムの正面パネルの診断インジケータを観察します。

11. 以下の手順を実行します。
 - a. システムおよび接続されている周辺機器の電源を切り、システムを電源コンセントから外します。
 - b. システムカバーを開きます。「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
 - c. 取り付けられていた各メモリモジュールについて、[手順 10](#) の [手順 c](#) ~ [手順 f](#) を繰り返します。


問題が解決しない場合は、「[困ったときは](#)」を参照してください。

ディスクドライブのトラブルシューティング

問題

- 1 診断インジケータまたはエラーメッセージがディスクドライブ(オプション)に問題があることを示している。

対応処置

 **警告:** システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、[手順を実行する前に「製品情報ガイド」を参照してください。](#)

1. セットアップユーティリティを起動し、ディスクドライブが正しく設定されていることを確認します。「ユーザーズガイド」の「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。
2. 適切なオンライン診断テストを実行します。「システム診断プログラムの実行」の「[Server Administrator 診断プログラムの使い方](#)」を参照してください。
3. システムおよび接続されている周辺機器の電源を切り、システムを電源コンセントから外します。
4. システムカバーを開きます。「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
5. ディスクドライブインタフェースケーブルが、ドライブとシステム基板に正しく接続されていることを確認します。
6. 電源ケーブルがドライブに正しく接続されていることを確認します。
7. システムカバーを閉じます。「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。
8. 電源ケーブルをコンセントに差し込んで、システムと周辺機器の電源を入れます。
9. 適切なオンライン診断テストを実行して、ディスクドライブが正常に動作するかどうかを確認します。問題が解決しない場合は、次の手順に進みます。
10. システムおよび接続されている周辺機器の電源を切り、システムを電源コンセントから外します。
11. システムカバーを開きます。「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
12. システムに取り付けられている拡張カードをすべて取り外します。「システムオプションの取り付け」の「[拡張カードの取り外し](#)」を参照してください。
13. システムカバーを閉じます。「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。
14. 電源ケーブルをコンセントに差し込んで、システムと周辺機器の電源を入れます。
15. 適切なオンライン診断テストを実行して、ディスクドライブが正常に動作するかどうかを確認します。

テストが正常に実行される場合は、拡張カードがディスクドライブロジックとコンフリクトを起こしているか、拡張カードに障害がある可能性があります。次の手順に進みます。

テストが失敗した場合は、「[困ったときは](#)」を参照してください。

16. システムおよび接続されている周辺機器の電源を切って、システムを電源コンセントから取り外します。
17. システムカバーを開きます。「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
18. [手順 12](#) で取り外した拡張カードの 1 つを取り付けます。「システムオプションの取り付け」の「[拡張カードの取り付け](#)」を参照してください。
19. システムカバーを閉じます。「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。
20. 電源ケーブルをコンセントに差し込んで、システムと周辺機器の電源を入れます。
21. 適切なディスクドライブのオンライン診断テストを実行して、ディスクドライブが正常に動作するか確認します。
22. すべての拡張カードの再インストールが完了するまで、または拡張カードのいずれかでテストエラーが発生するまで、[手順 16](#) ~ [手順 21](#) を繰り返します。
問題が解決しない場合は、「[困ったときは](#)」を参照してください。


CD ドライブのトラブルシューティング

問題

1. システムが IDE CD ドライブの CD からデータを読み込めない。
1. 診断インジケータまたはシステムメッセージが CD に関連したエラーを示している。
1. CD ドライブインジケータ(ある場合)が起動中に点滅しない。
1. CD-R/RW ドライブの Properties(プロパティ) ウィンドウに Recording(記録) タブが表示されない。
1. CD-R/RW ドライブ(ある場合)にファイルをコピーできない。

 **メモ:** Microsoft® Windows™ Server 2003 オペレーティングシステムとともに CD-R/RW ドライブを使用する場合は、オペレーティングシステムのネイティブ CD-R/RW の記録機能を有効にする必要があります。「[Microsoft Windows Server 2003 オペレーティングシステムでの CD-R/RW書き込み機能の有効化](#)」を参照してください。

対応処置

 **警告:** システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。


1. 動作確認済みの別の CD で試してみます。
問題が解決しない場合は、次の手順に進みます。
2. セットアップユーティリティを起動し、ドライブの IDE コントローラが有効になっていることを確認します。『ユーザーズガイド』の「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。
3. 適切なオンライン診断テストを実行します。「システム診断プログラムの実行」の「[Server Administrator 診断プログラムの使い方](#)」を参照してください。
4. システムおよび接続されている周辺機器の電源を切り、システムを電源コンセントから外します。
5. システムカバーを開きます。「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
6. CD インタフェースケーブルが、CD ドライブとコントローラに確実に接続されていることを確認します。
7. 電源ケーブルがドライブに正しく接続されていることを確認します。
8. システムカバーを閉じます。「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。
9. 電源ケーブルをコンセントに差し込んで、システムと周辺機器の電源を入れます。
問題が解決しない場合は、「[困ったときは](#)」を参照してください。

Microsoft Windows Server 2003 オペレーティングシステムでの CD-R/RW書き込み機能の有効化

Microsoft Windows Server 2003 は CD-R/RW 記録機能がサポートされますが、デフォルトでは無効に設定されています。

Microsoft Windows Server 2003 オペレーティングシステムの CD-R/RW 記録機能を有効にするには、以下の手順を実行します。

1. **スタート**をクリックし、**コントロールパネル**をクリックして、**管理ツール**をダブルクリックします。
2. **サービス**をダブルクリックします。
3. **IMAPI CD-Burning COM Service**を右クリックし、**プロパティ**を選びます。
4. **スタートアップの種類**ドロップダウンメニューで、**自動**を選択します。
5. サービスを開始するには、**開始**をクリックします。
6. **OK**をクリックして、ウィンドウを閉じます。
7. システムを再起動します。
8. システムを再起動したら、**スタート**→**すべてのプログラム**→**アクセサリ**→**エクスプローラ**をクリックします。
9. ご使用の CD-R/RW ドライブのアイコンを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
10. **CD Drive Properties (CD ドライブのプロパティ)** ウィンドウで、**Recording (記録)** タブをクリックします。
11. **Enable CD recording on this drive**(このドライブで CD 書き込みを有効にする) が選択されていることを確認します。
12. **OK**をクリックして、ウィンドウを閉じます。


 **メモ:** オペレーティングシステムのネイティブ CD-R/RW の記録機能の詳細については、support.microsoft.com を参照してください。

IDEテープドライブのトラブルシューティング

問題

- 1 IDE テープドライブのテープからシステムがデータを読み込めない。
- 1 診断インジケータまたはシステムメッセージがテープドライブに関連したエラーを示している。
- 1 テープドライブインジケータ(ある場合)が起動中に点滅しない。

対応処置

 **警告:** システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。

1. 動作確認済みの別のテープで試してみます。
問題が解決しない場合は、次の手順に進みます。
2. セットアップユーティリティを起動し、ドライブの IDE コントローラが有効になっていることを確認します。『ユーザーズガイド』の「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。
3. 適切なオンライン診断テストを実行します。「システム診断プログラムの実行」の「[Server Administrator 診断プログラムの使い方](#)」を参照してください。
4. システムおよび接続されている周辺機器の電源を切り、システムを電源コンセントから外します。
5. システムカバーを開きます。「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
6. IDE インタフェースケーブルが、テープドライブとシステム基板のコネクタ IDE に正しく接続されていることを確認します。
7. 電源ケーブルがドライブに正しく接続されていることを確認します。
8. システムカバーを閉じます。「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。
9. 電源ケーブルをコンセントに差し込んで、システムと周辺機器の電源を入れます。
問題が解決しない場合は、「[困ったときは](#)」を参照してください。

内蔵 SCSI テープドライブのトラブルシューティング

問題

- 1 診断インジケータまたはシステムメッセージがハードドライブまたは拡張カードの問題を示している。
- 1 テープドライブの不良。
- 1 テープカートリッジの不良。
- 1 テープバックアップソフトウェアまたはテープドライブのデバイスドライバがないか、壊れている。
- 1 SCSI コントローラの不良。

対応処置

⚠ 警告: システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。

1. 障害発生時に使用していたテープカートリッジを取り外し、動作確認済みのテープカートリッジを挿入します。
2. テープドライブ用の SCSI デバイスドライバと SCSI コントローラがインストールされ、正しく設定されていることを確認します。「ドライブの取り付け」の「[一般的な取り付けガイドライン](#)」を参照してください。
3. テープバックアップソフトウェアのマニュアルの説明に従って、テープバックアップソフトウェアを再インストールします。
4. テープドライブに一意の SCSI ID 番号が割り当てられていること、また、ドライブを接続しているインタフェースケーブルに応じて、テープドライブのターミネータが正しく設定されていることを確認します。

SCSI ID 番号の選択とターミネータの有効 / 無効の設定については、テープドライブのマニュアルを参照してください。
5. 適切なオンライン診断テストを実行します。「システム診断プログラムの実行」の「[Server Administrator 診断プログラムの使い方](#)」を参照してください。
6. システムおよび接続されている周辺機器の電源を切り、システムを電源コンセントから外します。
7. システムカバーを開きます。「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
8. テープドライブのインタフェースおよび電源ケーブルが、テープドライブと SCSI コントローラカードに接続されていることを確認します。
9. SCSI コントローラカードがコネクタに確実に装着されているか確認します。「システムオプションの取り付け」の「[拡張カードの取り付け](#)」を参照してください。
10. システムカバーを閉じます。「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。
11. 電源ケーブルをコンセントに差し込んで、システムと周辺機器の電源を入れます。
12. 問題が解決されない場合は、テープドライブのマニュアルを参照して、その他のトラブルシューティングの指示がないか確認します。
13. それでも問題が解決できない場合は、「[困ったときは](#)」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。

SCSI ハードドライブのトラブルシューティング

問題

- 1 診断インジケータまたはシステムメッセージがハードドライブまたは拡張カードの問題を示している。
- 1 デバイスドライバのエラー。
- 1 システムがハードドライブを認識しない。

対応処置

警告: システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。

注意: 以下の手順を実行すると、ハードドライブに保存されたデータが損傷する場合があります。手順を行う前に、ハードドライブ上のすべてのファイルをバックアップしてください。

1. 適切なオンライン診断テストを実行します。「システム診断プログラムの実行」の「[Server Administrator 診断プログラムの使い方](#)」を参照してください。

SCSI コントローラのテストについては、コントローラのマニュアルを参照してください。

テストが失敗した場合は、次の手順に進みます。

2. システムを再起動し、SCSI 設定ユーティリティを起動します。

メモ: 設定ユーティリティを起動するには、使用するユーティリティに応じて <Ctrl><a> または <Ctrl><m> を押します。設定ユーティリティの詳細については、コントローラに付属のマニュアルを参照してください。

3. プライマリ SCSI チャネルが正しく設定されていることを確認し、システムを再起動します。設定方法については、SCSI コントローラのマニュアルを参照してください。

4. 必要なデバイスドライバがインストールされ、正しく設定されていることを確認します。

5. システムおよび接続されている周辺機器の電源を切り、システムを電源コンセントから外します。

6. システムカバーを開きます。「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。

7. ハードドライブインタフェースケーブルが、システム基板またはコントローラカードとドライブとの間で正しく接続されているか確認します。コントローラカードのマニュアルを参照してください。

8. ハードドライブが起動ドライブの場合は、ドライブの接続と設定が正しいことを確認します。「ドライブの取り付け」の「[起動デバイスの設定](#)」を参照してください。

9. 電源ケーブルがドライブに正しく接続されていることを確認します。

10. ハードドライブに固有の SCSI ID 番号が割り当てられていること、またドライブのターミネータが正しく設定されていることを確認します。ハードドライブのマニュアルを参照してください。

11. システムカバーを閉じます。「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。

12. 電源ケーブルをコンセントに差し込んで、システムと周辺機器の電源を入れます。

問題が解決しない場合は、次の手順に進みます。

13. ハードドライブのフォーマットとパーティション分割を行います。オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

14. 可能な場合、ファイルをドライブに復元します。

問題が解決しない場合は、「[困ったときは](#)」を参照してください。

SATA ハードドライブのトラブルシューティング

問題

1. 診断インジケータまたはシステムメッセージがハードドライブに関連したエラーを示している。
1. ハードドライブの不良。
1. ハードドライブケーブルが損傷しているか、正しく接続されていない。

対応処置

警告: システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。

注意: このトラブルシューティング手順を実行すると、ハードドライブに保存されたデータが損傷する場合があります。以下の手順を実施する前に、ハードドライブ上のすべてのファイルをバックアップしてください。

1. 適切なオンライン診断テストを実行します。「システム診断プログラムの実行」の「[Server Administrator 診断プログラムの使い方](#)」を参照してください。

2. セットアップユーティリティを起動し、システムが正しく設定されていることを確認します。『ユーザーズガイド』の「[セットアップユーティリティの使い方](#)」を参照してください。

3. システムおよび接続されている周辺機器の電源を切り、システムを電源コンセントから外します。
4. システムカバーを開きます。「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
5. ハードドライブインターフェースケーブルがドライブとシステム基板に確実に接続されていることを確認します。
システム基板のコネクタを識別するには、[図 A-3](#) を参照してください。
6. ハードドライブが起動ドライブの場合は、ドライブの接続と設定が正しいことを確認します。「ドライブの取り付け」の「[起動デバイスの設定](#)」を参照してください。
7. 電源ケーブルがドライブに正しく接続されていることを確認します。
8. システムカバーを閉じます。「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。
9. 電源ケーブルをコンセントに差し込んで、システムと周辺機器の電源を入れます。
10. ハードドライブのフォーマットとパーティション分割を行います。オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。
11. 可能な場合、ファイルをドライブに復元します。
問題が解決しない場合は、「[困ったときは](#)」を参照してください。

拡張カードのトラブルシューティング

 **メモ:** 拡張カードのトラブルシューティングを行う際には、オペレーティングシステムと拡張カードのマニュアルを参照してください。

問題

1. エラーメッセージが拡張カードに問題があることを示している。
1. 拡張カードの動作が正常でない、またはまったく動作しない。

対応処置

 **警告:** システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。

1. 適切なオンライン診断テストを実行します。「システム診断プログラムの実行」の「[Server Administrator 診断プログラムの使い方](#)」を参照してください。
2. システムおよび接続されている周辺機器の電源を切り、システムを電源コンセントから外します。
3. システムカバーを開きます。「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
4. 各拡張カードがコネクタに確実に装着されていることを確認します。「システムオプションの取り付け」の「[拡張カードの取り付け](#)」を参照してください。
5. システムカバーを閉じます。「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。
6. 電源ケーブルをコンセントに差し込んで、システムと周辺機器の電源を入れます。
問題が解決しない場合は、次の手順に進みます。
7. システムおよび接続されている周辺機器の電源を切り、システムを電源コンセントから外します。
8. システムカバーを開きます。「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
9. システムに取り付けられている拡張カードをすべて取り外します。「システムオプションの取り付け」の「[拡張カードの取り外し](#)」を参照してください。
10. システムカバーを閉じます。「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。
11. 電源ケーブルをコンセントに差し込んで、システムと周辺機器の電源を入れます。
12. 適切なオンライン診断テストを実行します。
テストが失敗した場合は、「[困ったときは](#)」を参照してください。

13. [手順 9](#)で取り外した各拡張カードについて、次の手順を実行します。
 - a. システムおよび接続されている周辺機器の電源を切り、システムを電源コンセントから外します。
 - b. システムカバーを開きます。「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
 - c. 拡張カードの 1 つを取り付け直します。
 - d. システムカバーを閉じます。「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。
 - e. 適切な診断テストを実行します。テストが失敗した場合は、「[困ったときは](#)」を参照してください。
-

プロセッサのトラブルシューティング

問題

- 1 エラーメッセージが、プロセッサの問題を示している
- 1 ヒートシンクがプロセッサに取り付けられていない。

対応処置

⚠ 警告: システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。

1. 適切なオンライン診断テストを実行します。「システム診断プログラムの実行」の「[Server Administrator 診断プログラムの使い方](#)」を参照してください。
 2. システムおよび接続されている周辺機器の電源を切り、システムを電源コンセントから外します。
 3. システムカバーを開きます。「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
 4. プロセッサとヒートシンクアセンブリが正しく取り付けられていることを確認します。「システムオプションの取り付け」の「[プロセッサの取り外し](#)」を参照してください。
 5. システムカバーを閉じます。「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。
 6. 電源ケーブルをコンセントに差し込んで、システムと周辺機器の電源を入れます。
- 問題が解決しない場合は、「[困ったときは](#)」を参照してください。
-

[メモ、注意および警告](#)

システムオプションの取り付け

Dell™ PowerEdge™ SC430 システム インストール & トラブルシューティングガイド


- [メモリ](#)
- [プロセッサ](#)
- [拡張カード](#)
- [電源装置](#)
- [冷却ファン](#)
- [システムバッテリー](#)

本項では、以下のシステムオプションを取り付ける方法について説明します。

- 1 メモリ
- 1 プロセッサ
- 1 拡張カード
- 1 電源装置
- 1 冷却ファン
- 1 システムバッテリー

メモリ

システム基板上の 4 つのメモリモジュールコネクタには、256 MB から 4 GB の 533 MHz バッファなしの ECC DDR II シングルランクまたはデュアルランクのメモリモジュールを取り付けることができます。メモリモジュール取り付け用の 4 つのコネクタの位置については、[図 A-3](#) を参照してください。


 **メモ:** [図 A-3](#) に示すように、メモリスロットはシステム基板上に番号順に配置されているわけではありません。メモリを取り付ける場合は、[表 5-1](#) に示す構成のガイドラインに従って、慎重に作業してください。メモリを間違ったスロットに取り付けると、システムパフォーマンスが著しく低下します。

メモリモジュールアップグレードキット

このシステムは 256 MB、512 MB、または 1 GB の 533 MHz バッファなしの ECC DDR II シングルランクまたはデュアルランクメモリモジュールを組み合わせて最大 4 GB までアップグレードすることができます。メモリアップグレードキットは、デルからご購入いただけます。

メモリモジュール取り付けガイドライン

- 1 メモリモジュールを 1 つだけ取り付ける場合は、DIMM_1 コネクタに取り付ける必要があります。
- 1 DIMM_1 コネクタに 1 つだけ取り付ける場合、メモリモジュールの容量は 256 MB でなければなりません。
- 1 複数のメモリモジュールを取り付ける場合は、サイズ、速度、種類の同じメモリモジュールをペアで取り付ける必要があります。
- 1 メモリモジュールは、まず DIMM_1 および DIMM_2、次に DIMM_3 および DIMM_4 の順にペアで取り付けます。
- 1 フロントサイドバス速度がメモリよりも遅いプロセッサを取り付けた場合、メモリはこのプロセッサのフロントサイドバス速度で動作します。

 **注意:** メモリアップグレードの際にシステムから元のメモリモジュールを取り外した場合、新しいメモリモジュールがデルから購入したものであっても、お手持ちの新しいモジュールとは区別して保管してください。使用できるメモリモジュールは、アンレジスタードタイプまたはアンバッファードタイプの ECC DDR II のみです。

[表 5-1](#) に、メモリ構成のガイドラインを示します。この表に示すスロット構成に従ってメモリを取り付けると、メモリの最大のパフォーマンスが実現できます。

表 5-1 メモリ構成のガイドライン

メモリ合計	DIMM_1	DIMM_2	DIMM_3	DIMM_4
256 MB	256 MB	なし	なし	なし
512 MB	256 MB	256 MB	なし	なし
1 GB	256 MB	256 MB	256 MB	256 MB
1 GB	512 MB	512 MB	なし	なし
1.5 GB	256 MB	256 MB	512 MB	512 MB
2 GB	512 MB	512 MB	512 MB	512 MB
2 GB	1 GB	1 GB	なし	なし
3 GB	1 GB	1 GB	512 MB	512 MB
4 GB	1 GB	1 GB	1 GB	1 GB

4 GB 構成のメモリアドレス指定 (Microsoft® Windows® オペレーティングシステムのみ)

お使いのシステムは、1 GB のメモリモジュールを 4 つ使用して、最大 4 GB のメモリ容量をサポートします。現在のオペレーティングシステムでは最大 4 GB のアドレススペースが使用可能ですが、実際にオペレーティングシステムが使用するメモリ容量は 4 GB を少し下回ります。

メモ: システムに取り付けた PCI/PCIe 拡張カードの種類によっては、サポートされる最大メモリは 3.4 GB のみ、あるいはそれ以下になることもあります。

アドレススペースを必要とするコンポーネントは次のとおりです。

- 1 システム ROM
- 1 APIC (Advanced Programmable Interrupt Controllers)
- 1 内蔵 PCI デバイス (NIC など) および SCSI コントローラ
- 1 PCI 拡張カード

システムの起動時に、BIOS はアドレススペースを必要とするコンポーネントを識別します。BIOS は予約された必要なアドレススペースの容量を動的に計算して、4 GB から予約済みのアドレススペースを減算し、利用可能なメモリスペースの容量を決定します。

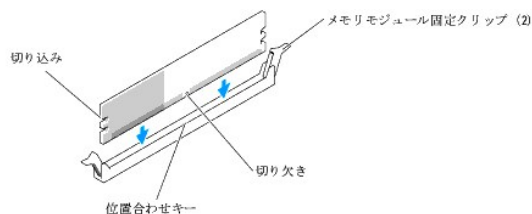
- 1 システムに取り付けられたメモリの総量が利用可能なアドレススペースより少ない場合、取り付けられたすべてのシステムメモリは、オペレーティングシステムのみが利用できます。
- 1 システムに取り付けられたメモリの総量が、利用可能なアドレススペースと同じか少しだけ多い場合、取り付けられたシステムメモリの少量部分を、オペレーティングシステムが利用できます。

メモリモジュールの取り付け

警告: システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。

1. システムおよび接続されている周辺機器の電源を切り、システムを電源コンセントから外します。
2. システムカバーを開きます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
3. メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップを押し開きます。[図 5-1](#) を参照してください。
4. メモリモジュールのエッジコネクタの切り欠きをシステム基板上のコネクタの位置合わせキーに合わせます。
メモリモジュールコネクタには位置合わせキーがあるので、メモリモジュールは一方方向にしか取り付けられません。
5. モジュールの両端に均等に力をかけながら、モジュールをコネクタに差し込んで慎重に所定の位置まで押し下げます。

図 5-1 メモリモジュールの取り付け



6. 固定クリップを掛けてモジュールを所定の位置に固定します。
モジュールを正しく挿入すると、固定クリップはモジュール両端の切り込みにカチッと収まります。
メモリモジュールがコネクタに正しく装着されると、コネクタの固定クリップは、メモリモジュールが取り付けられた別のコネクタの固定クリップとそっくりです。
7. システムカバーを閉じます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。
8. 電源ケーブルをコンセントに差し込んで、システムと周辺機器の電源を入れます。
新しいメモリ容量が既存の設定情報と一致しないことをシステムが検知すると、次のメッセージが表示されます。
The amount of system memory has changed.
Strike the F1 key to continue, F2 to run the setup utility.
9. <F2> を押して、セットアップユーティリティを起動し、Memory Info の値を調べます。詳細については、『ユーザーズガイド』を参照してください。

Memory Info の値は、新しく取り付けられたメモリを反映して、システムによって変更されているはずですが、メモリの新しい値を確認します。値が正しければ[手順 13](#) へ進みます。

10. メモリの値が正しくない場合は、システムとシステムに接続されている周辺機器の電源を切って、システムを電源コンセントから外します。
11. システムカバーを開きます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
12. 取り付けられたメモリモジュールがコネクタに正しく装着されていることを確認し、[手順 6](#) ~ [手順 9](#) を繰り返します。
13. Memory Info の値が正しい場合は、<Esc> を押して、セットアップユーティリティを終了します。
14. システム診断プログラムを実行し、メモリモジュールが正しく動作しているか確認します。

メモリモジュールの取り外し

警告: システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。

1. システムおよび接続されている周辺機器の電源を切り、システムを電源コンセントから外します。
2. システムカバーを開きます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
3. メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップを押し開きます。[図 5-1](#) を参照してください。
4. メモリモジュールを持って、コネクタから抜きます。

モジュールが抜き取りにくい場合は、モジュールを慎重に前後に動かしながら、コネクタから取り外します。

プロセッサ

プロセッサをアップグレードすれば、速度と機能が向上したプロセッサの将来のオプションを利用することができます。

プロセッサおよびプロセッサのキャッシュメモリは、システム基板のソケットに取り付けられた LGA (Land Grid Array) パッケージに格納されています。

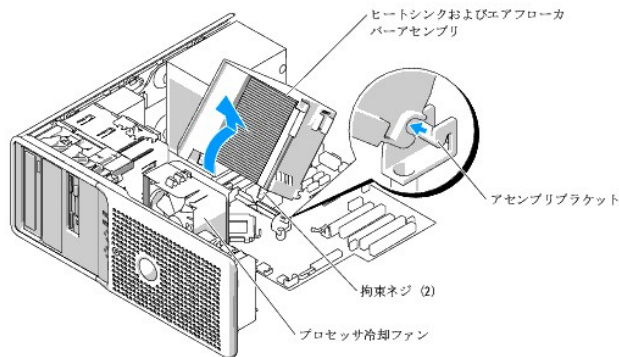
プロセッサの取り外し

警告: システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。

警告: システム稼働中は、プロセッサおよびヒートシンクが非常に高温になることがあります。プロセッサおよびヒートシンクが十分に冷えるのを待ってから手を触れるようにしてください。

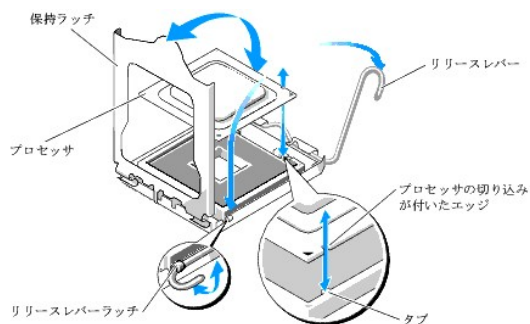
1. システムおよび接続されている周辺機器の電源を切り、システムを電源コンセントから外します。
2. システムカバーを開きます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
3. プロセッサ冷却用エアフローカバーとヒートシンクを所定の位置に固定している 2 本の拘束ネジを緩めます。
拘束ネジは、プロセッサ冷却ファンハウジングの横にあります。[図 5-2](#) を参照してください。
4. プロセッサ冷却用エアフローカバーをファンハウジングから離すように傾け、持ち上げて外します。

図5-2 プロセッサ冷却用アセンブリの取り外し



5. ソケットの上にあるリリースレバーラッチの下のリリースレバーをスライドさせてプロセッサカバーを開きます。レバーを後ろに引いて、プロセッサを取り外します。図 5-3 を参照してください。

図 5-3 プロセッサの取り外し



- ➡ **注意:** 保持ラッチには圧力がかけられています。ラッチがすぐには開かず、プロセッサやシステム基板にぶつからないことを確認します。

6. 保持ラッチを慎重に回してプロセッサから外します。

- ➡ **注意:** プロセッサの 1 つの端を持ってソケットから外さないでください。プロセッサの精巧な接続部が損傷するおそれがあります。

- ➡ **注意:** ソケットのコネクタパッドに触れたり、異物を落としたりしないように注意してください。

7. プロセッサをまっすぐに持ち上げてソケットから取り出します。

ソケットに新しいプロセッサをすぐに取り付けられるように、リリースレバーと保持ラッチは開放した状態のままにしておきます。

プロセッサの交換

1. 下部の接続部に汚れなどの異物がないことを確認します。

2. 交換用プロセッサの切り込みの付いたエッジをプロセッサフレームのタブに合わせます。図 5-3 を参照してください。

- ➡ **注意:** プロセッサの取り外しと取り付けの際には、細心の注意を払ってください。プロセッサソケットのコネクタが損傷していると、システム基板を損傷するおそれがあります。

3. プロセッサフレームの中にプロセッサを慎重に置きます。プロセッサの切り込みの付いたエッジを確実にプロセッサフレームのタブに合わせます。プロセッサを下に押さないでください。プロセッサが所定の位置に正しくセットされていれば、ソケットフレームにぴったりと収まるはずですが、図 5-3 を参照してください。

4. 保持ラッチをプロセッサにかぶせてから、リリースレバーを所定の位置にカチッとハマるところまでシステム基板の方向へ回転させます。

5. ヒートシンク底面に塗ってあるサーマルグリースをきれいに拭き取ります。

- ➡ **注意:** 新しいサーマルグリースを塗ります。新しいサーマルグリースの塗布は、正しいサーマルボンディングとプロセッサの最適な動作を保証する上できわめて重要です。

6. プロセッサの上面にサーマルグリースを新たに塗布します。
7. ヒートシンクアセンブリをブラケットに戻し、ヒートシンクアセンブリを傾けてシステム基板の上に置きます。[図 5-2](#) を参照してください。
8. 2本のキャプチャネジをシステム基板に正しく合わせてから締め、ヒートシンクアセンブリをシステム基板に固定します。
9. システムカバーを閉じます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。
10. 電源ケーブルをコンセントに差し込んで、システムと周辺機器の電源を入れます。

拡張カード

システム基板には、5枚の拡張カード(5V ハーフレングス 32ビット、33MHz PCI × 2、2.5 Gb/秒 PCIe [x4] × 1、2.5 Gb/秒 PCIe [x8] × 1、2.5 Gb/秒 PCIe [x8] × 1)、を搭載することができます。拡張カードスロットの位置は、[図 A-3](#) を参照してください。

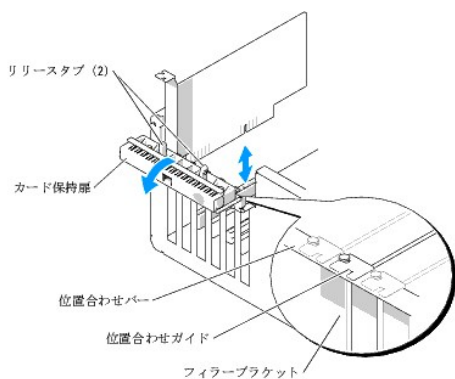
メモ: PCI スロットは 3.3V の拡張カードをサポートしていません。5V の PCI 拡張カードのみを使用してください。

拡張カードの取り付け

警告: システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。

1. システムおよび接続されている周辺機器の電源を切り、システムを電源コンセントから外します。
2. システムカバーを開きます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
3. カードの保持扉を内側に押し開きます。[図 5-4](#) を参照してください。

図5-4 拡張カードの取り付け



4. 新たにカードを取り付ける場合、フィラーブラケットを取り外します。

メモ: このブラケットは、拡張カードを取り外す場合に備えて保管しておいてください。FCC 認可規格にシステムを準拠させるには、空の拡張カードスロットにフィラーブラケットを取り付ける必要があります。ブラケットには、システム内へのごみやほこりの侵入を防いだり、システム内部の正常な冷却と換気を助ける働きもあります。

5. カードを取り付ける準備をします。

カードの設定、内部の接続、またはシステムに合わせたカスタマイズなどの情報については、カードに付属のマニュアルを参照してください。

メモ: ネットワークカード (NIC) の中には、ネットワークに接続すると自動的にシステムを起動するものがあります。

6. カードエッジコネクタをシステム基板の拡張カードコネクタに差し込んで、しっかりと押し付けます。カードがスロットにしっかりと装着されており、すべてのカードとフィラーブラケットが位置合わせバーとぴったりそろっていることを確認します。
7. カード保持扉を開め、カードをシステムに固定します。

注意: カードのケーブルは、カードの上や後ろを通して配線しないでください。ケーブルをカードの上に配線すると、システムカバーが正しく閉まらなくなったり、装置に損傷を与えるおそれがあります。

- 必要なすべてのケーブルをカードに接続します。
カードのケーブル接続については、カードに付属のマニュアルを参照してください。
- システムカバーを閉じます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。
- 電源ケーブルをコンセントに差し込んで、システムと周辺機器の電源を入れます。
- カードのマニュアルに従って、必要なすべてのデバイスドライバをインストールします。

拡張カードの取り外し

警告: システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。

- システムおよび接続されている周辺機器の電源を切り、システムを電源コンセントから外します。
- システムカバーを開きます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
- カードの保持扉を内側に押し開きます。[図 5-4](#) を参照してください。
- 必要があれば、カードに接続されたケーブルを外します。
- カードの上端を持って、コネクタを緩めます。
- カードを取り外したままにする場合は、空のカードスロット開口部にフィルターブラケットを取り付けます。

メモ: FCC 認可規格にシステムを準拠させるには、空の拡張カードスロットにはフィルターブラケットを取り付ける必要があります。ブラケットには、システム内へのごみやほこりの侵入を防止したり、システム内部の正常な冷却と換気を助ける働きもあります。

- カード保持扉を閉め、残りのカードをシステムに固定します。[図 5-4](#) を参照してください。
- システムカバーを閉じます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。
- 電源ケーブルをコンセントに差し込んで、システムと周辺機器の電源を入れます。
- カードのデバイスドライバをオペレーティングシステムから削除します。

電源装置

電源装置の取り外し

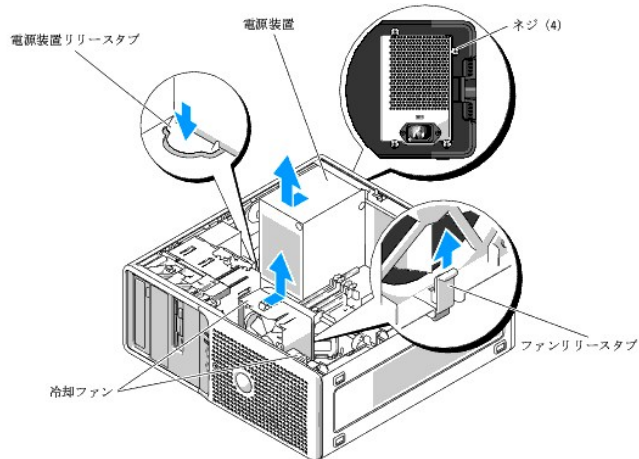
警告: システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。

- システムおよび接続されている周辺機器の電源を切り、システムを電源コンセントから外します。
- システムカバーを開きます。「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
- ヒートシンクおよびエアフローカバーアセンブリを取り外します。「[プロセッサの取り外し](#)」を参照してください。
- 次の電源ケーブルを取り外します。
 - システム基板への P1 および P2 コネクタ
 - SATA ドライブへの P3 および P5 コネクタ(該当する場合)
 - SCSI ドライブへの P11 コネクタ(該当する場合)
 - ディスクドライブへの P7 コネクタ(該当する場合)
 - オプティカルドライブおよびテープドライブへの P8 および P9 コネクタ(該当する場合)

メモ: システムフレーム内のタブを外して DC 電源ケーブルをシステム基板およびドライブから取り外す際は、タブの下の配線経路をメモしておいてください。それらのケーブルを再び取り付ける際に、挟まれたり折れ曲がったりしないように、正しく配線する必要があります。

5. 電源装置の側面の配線クランプに接続されている IDE、I/O パネル、SATA ケーブルを取り外します。
6. #2 のプラスドライバを使って、電源装置を背面パネルに固定している 4 本のプラスネジを取り外します。
7. 電源装置リリースタブを押し下げ、電源装置をシステム正面に向かってスライドさせてから、持ち上げてシステムシャーシから取り外します。[図 5-5](#) を参照してください。

図5-5 電源装置および冷却ファンの取り外し



電源装置の取り付け

1. 新しい電源装置を取り付ける準備をします。
2. 電源装置の取り付け穴と背面パネルの取り付け穴の位置を合わせます。
3. カチッと音がして電源装置リリースタブの上の所定の位置に収まるまで、電源装置を背面パネルに向かってスライドさせます。
4. #2 のプラスドライバを使って 4 本のプラスネジを締め付け、電源装置を背面パネルに固定します。
5. 次の電源ケーブルを接続しなおします。
 - 1 システム基板への P1 および P2 コネクタ
 - 1 SATA ドライブへの P3 および P5 コネクタ(該当する場合)
 - 1 SCSI ドライブへの P11 コネクタ(該当する場合)
 - 1 ディスケットドライブへの P7 コネクタ(該当する場合)
 - 1 オプティカルドライブおよびテープドライブへの P8 および P9 コネクタ(該当する場合)
6. ヒートシンクおよびエアフローカバーアセンブリを取り付けなおします。「[プロセッサの交換](#)」を参照してください。
7. システムカバーを閉じます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。

冷却ファン

システムは、プロセッサ用とカードケージ用の 2 つの冷却ファンを備えています。各ファンには、冷却ファンアセンブリの一部であるエアフローカバーが付いています。ファンとエアフローカバーは 1 つのユニットとして交換します。

メモ: 大型のプロセッサ冷却ファンを取り外す場合は、まずプロセッサヒートシンクとエアフローカバーアセンブリを取り外す必要があります。「[プロセッサの取り外し](#)」および [図 5-2](#) を参照してください。

冷却ファンの交換

⚠ 警告: システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。

1. システムおよび接続されている周辺機器の電源を切り、システムを電源コンセントから外します。
2. システムカバーを開きます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
3. システム基板から冷却ファンの電源ケーブルを外します。[図 A-3](#) を参照してください。
4. 取り外すファンによって多少異なりますが、次の操作を行います。
 - a. 小型のカードケージファンを取り外す場合は、ファンをシャーシに固定している唯一のリリースタブを押して背面パネルの方にスライドさせます。ファンを持ち上げてシャーシから取り出します。
 - b. 大型のプロセッサ冷却ファンを取り外す場合は、まずプロセッサ必要があります。「[プロセッサの取り外し](#)」を参照してください。ヒートシンクとエアフローカバーアセンブリを取り外したら、プロセッサ冷却ファンをシャーシに固定しているリリースタブを押して背面パネルの方にスライドさせます。ファンを持ち上げてシャーシから取り出します。
5. 交換用ファンの固定タブを、システムシャーシの取り付け穴に合わせます。
6. カチッと音がして所定の位置に収まるまで、ファンを正面パネルに向かってスライドさせます。
7. 大型のプロセッサ冷却ファンを交換した場合は、プロセッサヒートシンクとエアフローカバーアセンブリを取り付けなおします。「[プロセッサの交換](#)」を参照してください。
8. ファンの電源ケーブルをシステム基板に接続しなおします。
9. システムカバーを閉じます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。

システムバッテリー

コイン型バッテリーによって、システムの設定、日付、時間の情報が保持されます。このバッテリーは数年間使い続けることができます。

バッテリーの交換が必要かどうか決めるには、「システムのトラブルシューティング」の「[システムバッテリーのトラブルシューティング](#)」を参照してください。

バッテリーがなくてもシステムは動作しますが、電源をオフにしたり、コンセントから電源プラグを抜いたりした場合、設定情報が消去されます。この場合、セットアップユーティリティを起動して、セットアップ項目を再設定しなければなりません。

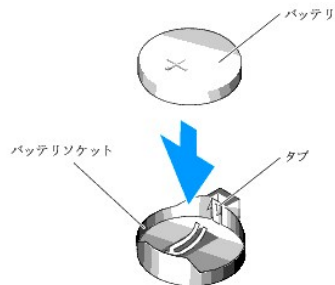
⚠ 警告: 新しいバッテリーが正しく取り付けられていないと、破裂する危険があります。交換バッテリーには、メーカーが推奨する型、または同等の製品を使用してください。使用済みのバッテリーは、メーカーの指示に従って廃棄してください。

バッテリーの交換

⚠ 警告: システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。

1. セットアップユーティリティを起動して、セットアップの設定を書き留めます。『ユーザーズガイド』の「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。
2. システムおよび接続されている周辺機器の電源を切り、システムを電源コンセントから外します。
3. システムカバーを開きます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
4. システム基板のバッテリーの位置を確認します。バッテリーの位置については、[図 A-3](#) を参照してください。
- ➡ **注意:** バッテリーの取り外しの際に、先のとがっていない非伝導性の道具を使ってバッテリーの横にあるタブを押す場合、道具がシステム基板に触れないように注意してください。タブを押す前に、この道具がバッテリーとタブの間に挿入されていることを確認してください。バッテリーをこじって取り外さないでください。バッテリーをこじった場合、ソケットの破損やシステム基板上のプリント回路切断などのシステム基板損傷の原因となります。
5. タブを押して、バッテリーを取り外します。[図 5-6](#) を参照してください。

図5-6 バッテリーの交換



6. 新しいバッテリーは、「+」の印がある方を上に向けてソケットに挿入し、カチッと収まるまで上から押し付けます。
7. システムカバーを閉じます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。
8. 電源ケーブルをコンセントに差し込んで、システムと周辺機器の電源を入れます。
9. セットアップユーティリティを起動して、バッテリーが正常に動作していることを確認します。
10. メイン画面で **System Time** を選び、正しい時刻と日付を入力します。
また、セットアップ画面に表示されなくなったシステム設定情報を再入力してから、セットアップユーティリティを終了します。
11. 新しく取り付けたバッテリーをテストするには、システムの電源を切り、少なくとも 1 時間はシステムを電源コンセントから外しておきます。
12. 1 時間経過後、システムをコンセントに接続して、電源を入れます。
13. セットアップユーティリティを起動します。それでも時間と日付が間違っている場合、「[困ったときは](#)」を参照してください。
14. 古いバッテリーを適切な方法で廃棄します。詳細については、『製品情報ガイド』を参照してください。

[メモ、注意および警告](#)

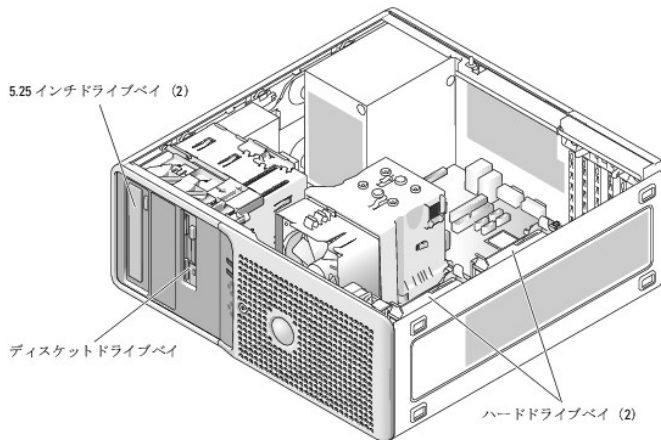
ドライブの取り付け

Dell™ PowerEdge™ SC430 システム インストール & トラブルシューティングガイド

- [一般的な取り付けガイドライン](#)
- [SATA または SCSI ハードドライブの取り付け](#)
- [SCSI コントローラカードの取り付け](#)
- [ディスクドライブの取り付け](#)
- [5.25 インチ オプティカルドライブおよびテープドライブの取り付け](#)

お使いのシステムのドライブベイには、SATA または SCSI のハードドライブを 2 台までと、5.25 インチドライブ 2 台、オプションのディスクドライブ 1 台を設置するスペースがあります。[図 6-1](#) を参照してください。

図 6-1 システム内部のドライブの位置



一般的な取り付けガイドライン

SCSI ドライブ取り付けガイドライン

SCSI ドライブの取り付け方法は、基本的に他のドライブと同じですが、設定要件が異なります。SCSI ドライブの取り付けと設定については、次の項のガイドラインに従ってください。

- **メモ:** SCSI コントローラカードは PCI スロット 3 または 5 に取り付けする必要があります。[図 A-3](#) を参照してください。
- **メモ:** デルで取り付け済みの SCSI デバイスは、製造工程で正しく設定されています。これらの SCSI デバイスに SCSI ID を設定する必要はありません。

SCSI インタフェースケーブル

SCSI インタフェースコネクタは、正しく取り付けられるように設計されています。ケーブルの 1 番ピンワイヤが、ケーブル両端のコネクタの 1 番ピンに誤りなく接続されます。インタフェースケーブルを取り外す場合は、ケーブルを無理やり引っ張らずにケーブルコネクタをつまんでください。

SCSI ID番号

SCSI コントローラに接続した各ドライブには、0~15 の範囲内で固有の SCSI ID 番号を割り当てる必要があります。

- 1 システム起動用の SCSI ハードドライブは、SCSI ID 0 として設定されます。
- 1 追加 SCSI ドライブの取り付けや SCSI の設定変更を行う場合は、適切な SCSI ID 番号の設定方法について、各 SCSI ドライブのマニュアルを参照してください。

- **メモ:** SCSI ID 番号は順番に割り当てる必要はありません。また、ドライブを ID 番号順にインタフェースケーブルに取り付ける必要もありません。

SCSI デバイスターミネータ

SCSI ロジックでは、ターミネータ(終端)は SCSI チェーン両端の 2 つのドライブだけが有効で、その間のすべてのドライブに対して無効に設定します。内蔵 SCSI ドライブの場合、ターミネータは自動的に設定されます。ターミネータを無効にする方法については、オプションの SCSI ドライブに付属のマニュアルを参照してください。

起動デバイスの設定

システムが起動に使用するドライブまたはデバイスは、セットアップユーティリティで設定する起動順序によって決まります。『ユーザーズガイド』の「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。システムをハードドライブまたはドライブアレイから起動するには、ドライブを適切なコントローラに接続する必要があります。

SCSI ハードドライブから起動する場合は、ドライブをオプションの SCSI コントローラカードに接続する必要があります。コントローラカードに付属のマニュアルを参照してください。

システムは、外付けの USB ディस्कまたはオプティカルドライブから起動することもできます。『ユーザーズガイド』の「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。

SATA または SCSI ハードドライブの取り付け

お使いのシステムには非ホットプラグ対応の SATA または SCSI ハードドライブが 2 台まで装備されています。内蔵 SATA コントローラは 2 台の SATA ハードドライブをサポートします。お使いのシステムに SCSI ハードドライブが装備されている場合、SCSI ハードドライブはオプションの SCSI コントローラカードに接続する必要があります。

取り外しと取り付けの手順は、SATA および SCSI ハードドライブとも同様です。

ハードドライブの取り外し

⚠ 警告: システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、システム内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。

1. システムおよび接続されている周辺機器の電源を切り、システムを電源コンセントから外します。
2. システムカバーを開きます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
3. 電源ケーブルおよびインタフェースケーブルをハードドライブから外します。図 6-2 および 図 6-3 を参照してください。

図 6-2 SCSI ハードドライブの取り外しと取り付け

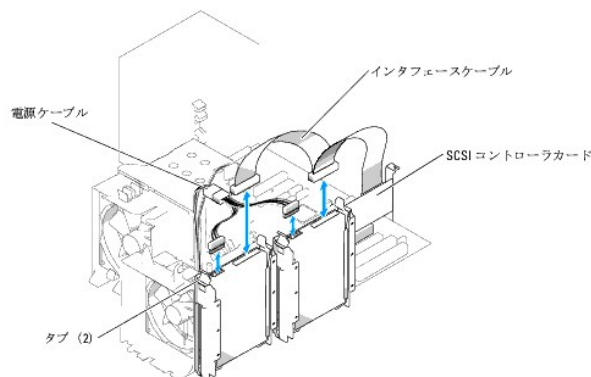
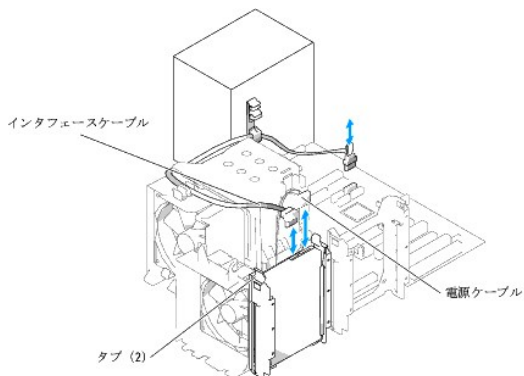


図 6-3 SATA ハードドライブの取り外しと取り付け



4. 取り外し可能なドライブガイドブラケットの両側にあるタブを押し、ガイドブラケットを上方にスライドさせて、ドライブベイから取り出します。

メモ: ドライブを取り付けない場合は、ガイドブラケットからドライブを取り出し(図 6-4 参照)、空のガイドブラケットをドライブベイに戻すことを強くお勧めします。これで、空のブラケットが使用されていない間に紛失したり不適切な方法で保存されたりする可能性がなくなります。

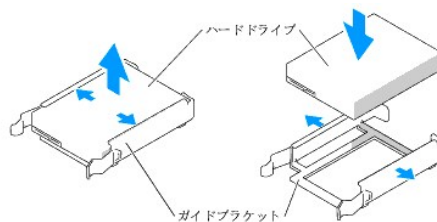
5. システムカバーを閉じます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。
6. 電源ケーブルをコンセントに差し込んで、システムと周辺機器の電源を入れます。

ハードドライブの取り付け

警告: システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。

1. システムおよび接続されている周辺機器の電源を切り、システムを電源コンセントから外します。
2. システムカバーを開きます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
3. ドライブを梱包から取り出し、取り付けの準備をします。
4. ドライブのマニュアルを参照し、ドライブがお使いのシステムに合わせて設定されていることを確認します。
5. 2 つのタブを内側に押し、プラスチックのガイドブラケットを持ち上げてドライブベイから取り出します。図 6-2 または 図 6-3 を参照してください。
6. 新しいドライブをガイドブラケットにカチッとはめ込み、ガイドブラケットが所定の位置にカチッと固定されるまで挿入します。図 6-4 を参照してください。


図 6-4 ガイドブラケットアセンブリ内のハードドライブの取り外しと取り付け



7. 電源ケーブルをドライブに接続します。図 6-2 または 図 6-3 を参照してください。
8. 以下の要領で、インタフェースケーブルをドライブに接続します。
 - 1 SATA ハードドライブは、システム基板上の SATA0 (第 1 のドライブ) と SATA2 (第 2 のドライブ) のコネクタに接続します。システム基板のドライブインタフェースコネクタの位置については、図 A-3 を参照してください。
 - 1 SCSI ハードドライブは、チャンネル A の SCSI コントローラカードに接続します。コントローラカードのマニュアルおよび「システムオプションの取り付け」の「[拡張カードの取り付け](#)」を参照してください。
9. システムカバーを閉じます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。
10. 電源ケーブルをコンセントに差し込んで、システムと周辺機器の電源を入れます。
11. セットアップユーティリティを起動し、ドライブのコントローラが有効になっていることを確認します。『ユーザズガイド』の「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。
12. 次の手順に進む前に、ご使用のドライブにパーティションを作成し、論理フォーマットを実行します。
手順については、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。
13. システム診断プログラムを実行して、ハードドライブをテストします。「[システム診断プログラムの実行](#)」を参照してください。
14. 新しく取り付けられたドライブがプライマリドライブの場合、そのハードドライブにオペレーティングシステムをインストールします。

SCSI コントローラカードの取り付け

カードの取り付けとケーブルの配線の手順については、「システムオプションの取り付け」の「[拡張カードの取り付け](#)」を参照してください。ケーブルの配線の詳細については、図 6-2 も参照してください。

 **メモ:** SCSI コントローラカードのほとんどは、ドライブ動作 LED を点灯させるドライブ動作インジケータ信号を送信できます。この信号は、接続されたコントローラカードからシステム基板にある AUX_LED コネクタに、ケーブルを介して送信されます。コネクタの位置については、[図 A-3](#)を参照してください。

ディスクドライブの取り付け

お使いのシステムはオプションとして標準ディスクドライブをサポートしています。

ディスクドライブの取り外し


 **警告:** システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。

1. システムおよび接続されている周辺機器の電源を切り、システムを電源コンセントから外します。
2. システムカバーを開きます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
3. 前面ドライブベゼルを取り外します。「システムのトラブルシューティング」の「[前面ドライブベゼルの取り外しと取り付け](#)」を参照してください。
4. 電源ケーブルおよびインタフェースケーブルをディスクドライブから外します。[図 6-6](#)を参照してください。
5. ドライブベイのスライディングプレートと、プレートの矢印の方向に引き下ろします。[図 6-6](#)を参照してください。
6. スライディングプレートを固定し、ベイからドライブを引き出します。
7. ドライブを取り外したままにする場合は、ドライブベイカバーを取り付けます。「システムのトラブルシューティング」の「[前面ドライブベゼルカバーの取り外しと取り付け](#)」を参照してください。
8. 前面ドライブベゼルを元のように取り付けます。「システムのトラブルシューティング」の「[前面ドライブベゼルの取り外しと取り付け](#)」を参照してください。
9. システムカバーを閉じます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。
10. 電源ケーブルをコンセントに差し込んで、システムと周辺機器の電源を入れます。

ディスクドライブの取り付け

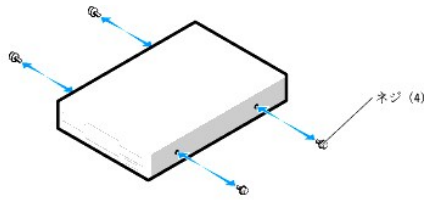
 **警告:** システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。

1. システムおよび接続されている周辺機器の電源を切り、システムを電源コンセントから外します。
2. システムカバーを開きます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
3. 交換用のディスクドライブを箱から取り出し、取り付けの準備をします。
4. ドライブのマニュアルを参照し、ドライブがお使いのシステムに合わせて設定されていることを確認します。
5. [図 6-5](#)のように、ドライブに 4 本の肩付きネジを取り付けます。

 **メモ:** スペアの肩付きネジは前面ドライブベゼルの内側に付いています。

6. 前面ドライブベゼルを取り外します。「システムのトラブルシューティング」の「[前面ドライブベゼルの取り外しと取り付け](#)」を参照してください。

図6-5 ディスクドライブの肩付きネジの取り付け

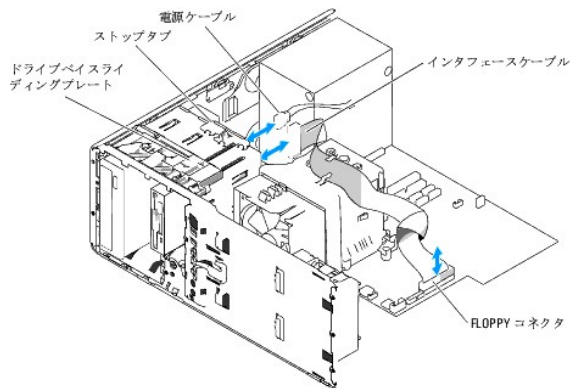


7. ドライブベイヤカバーを取り外します。「システムのトラブルシューティング」の「[前面ドライブベゼルカバーの取り外しと取り付け](#)」を参照してください。
8. ドライブストップタブが正しい位置にあることを確認します。このタブは、ドライブケースのディスクアイコンが見えるように、一番下に位置している必要があります。[図 6-6](#) を参照してください。

メモ: ストップタブが正しい位置にない状態でドライブベイにディスクドライブを挿入すると、ドライブがベイに深く入りすぎるおそれがあります。

9. シャーシ前面からドライブをドライブベイに挿入し、カチッと音がしてスライディングプレートに固定されるまでスライドさせます。
10. 電源ケーブルをドライブに接続します。[図 6-6](#) を参照してください。

図 6-6 オプションのディスクドライブの取り外しと取り付け



11. ディスクドライブのインタフェースケーブルを、システム基板上の FLOPPY コネクタに接続します。[図 6-6](#) および [図 A-3](#) を参照してください。
12. システムカバーを閉じます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。
13. 前面ドライブベゼルを元のように取り付けます。「システムのトラブルシューティング」の「[前面ドライブベゼルの取り外しと取り付け](#)」を参照してください。
14. 電源ケーブルをコンセントに差し込んで、システムと周辺機器の電源を入れます。
15. セットアップユーティリティを起動し、ドライブのコントローラが有効になっていることを確認します。『ユーザーズガイド』の「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。
16. システム診断プログラムを実行して、ドライブをテストします。「[システム診断プログラムの実行](#)」を参照してください。

5.25 インチ オプティカルドライブおよびテープドライブの取り付け

セカンド 5.25 インチベイには、希望の 5.25 インチドライブを 1 台取り付けることができます。[図 6-1](#) を参照してください。テープバックアップ装置 (TBU) を追加する場合は、必ずセカンドベイに取り付ける必要があります。

5.25 インチドライブの取り付け

警告: システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。

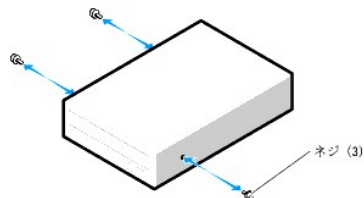
1. ドライブを箱から出して、取り付けの準備をします。

手順については、ドライブに付属のマニュアルを参照してください。また、ドライブの設定については、「[SCSI ドライブ取り付けガイドライン](#)」を参照してください。

2. ドライブに 3 本の肩付きネジを取り付けます。[図 6-7](#) を参照してください。

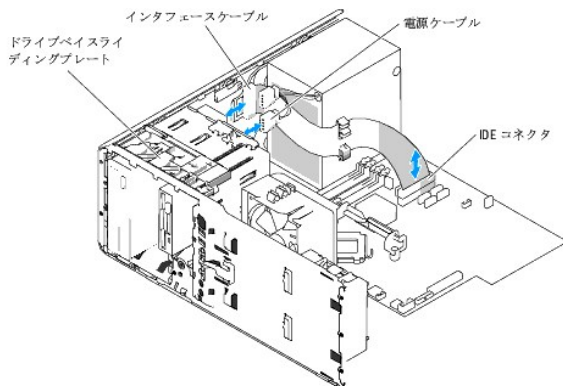
メモ: スベアの肩付きネジは前面ドライブベゼルの内側に付いています。

図 6-7 5.25 インチドライブの肩付きネジの取り付け



3. システムおよび接続されているすべての周辺機器の電源を切り、電源コンセントから外します。
4. システムカバーを開きます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
5. 前面ドライブベゼルを取り外します。「システムのトラブルシューティング」の「[前面ドライブベゼルの取り外しと取り付け](#)」を参照してください。
6. 必要に応じて、空のドライブベイからドライブベイカバーを取り外します。「[前面ドライブベゼルカバーの取り外しと取り付け](#)」を参照してください。
7. シャーシ前面からドライブをドライブベイに挿入し、カチッと音がしてスライディングプレートに固定されるまでスライドさせます。
8. 電源ケーブルをドライブに接続します。[図 6-8](#) を参照してください。

図 6-8 5.25 インチドライブの取り付け



9. ドライブのインタフェースケーブルをシステム基板上の IDE コネクタとドライブに接続します。[図 6-8](#) および [図 A-3](#) を参照してください。
10. システムカバーを閉じます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。
11. 前面ドライブベゼルを元のように取り付けます。「システムのトラブルシューティング」の「[前面ドライブベゼルの取り外しと取り付け](#)」を参照してください。
12. 電源ケーブルをコンセントに差し込んで、システムと周辺機器の電源を入れます。
13. セットアップユーティリティを起動し、ドライブの IDE コントローラが有効になっていることを確認します。『ユーザーズガイド』の「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。
14. システム診断プログラムを実行して、ドライブをテストします。「[システム診断プログラムの実行](#)」を参照してください。

[メモ、注意および警告](#)

部品交換のみのサービスの手順

Dell™ PowerEdge™ SC430 システム インストール & トラブルシューティングガイド

- [作業を開始する前に](#)
- [推奨する工具](#)
- [ベゼルの取り外しと取り付け](#)
- [I/O パネル](#)
- [シャーシインストールジョンスイッチ](#)
- [システム基板](#)

作業を開始する前に

警告: システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。

推奨する工具

本項の手順を実行するには、以下のアイテムが必要です。

- 1 #2 プラスドライバ
- 1 静電気防止用リストバンド

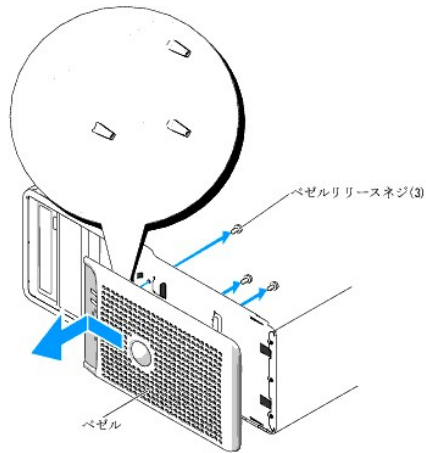
ベゼルの取り外しと取り付け

ベゼルの取り外し

警告: システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。

1. システムおよび接続されている周辺機器の電源を切り、システムを電源コンセントから外します。
2. システムカバーを開きます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
3. プロセッサヒートシンクおよびエアフローカバーアセンブリを取り外します。「[システムオプションの取り付け](#)」の「[プロセッサの取り外し](#)」を参照してください。
4. 大型のプロセッサ冷却ファンを取り外します。「システムオプションの取り付け」の「[冷却ファンの交換](#)」を参照してください。
5. 「[I/Oパネルの取り外し](#)」の[手順 6](#) から[手順 8](#) に記載する手順で、I/O パネルを取り外します。
6. 3本のベゼルリリースネジを取り外します。[図 7-1](#) を参照してください。
7. ベゼルのシステムシャーシの上部に向かってスライドさせてから、外側へ持ち上げます。

図 7-1 ベゼルの取り外し



ベゼルの取り付け

1. ベゼルのシャーンフレームに合わせ、所定の位置までスライドさせて下ろします。
2. 3本のベゼルリリースネジを取り付け、ベゼルのシステムシャーシに固定します。[図 7-1](#)を参照してください。
3. 「[I/O パネルの取り付け](#)」の[手順 6](#) から[手順 8](#)に記載する手順で、I/O パネルを取り付けます。
4. プロセッサ冷却ファンを取り付けます。「システムオプションの取り付け」の「[冷却ファンの交換](#)」を参照してください。
5. プロセッサヒートシンクおよびエアフローカバーアセンブリを取り付けなおします。「システムオプションの取り付け」の「[プロセッサの交換](#)」を参照してください。
6. システムカバーを閉じます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。
7. 電源ケーブルをコンセントに接続し、システムの電源を入れます。

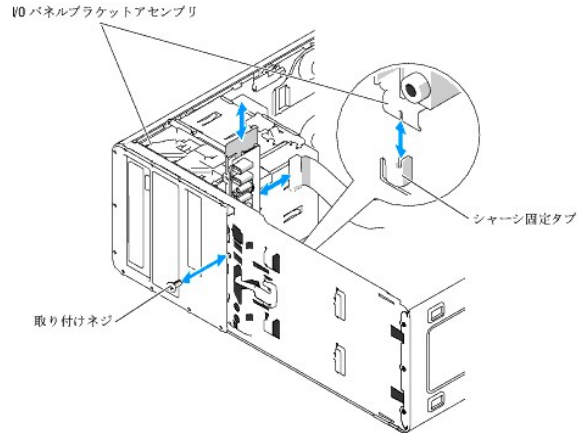
I/O パネル

警告: システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。

I/Oパネルの取り外し

1. システムおよび接続されている周辺機器の電源を切り、システムを電源コンセントから外します。
2. システムカバーを取り外します。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
3. ヒートシンクおよびエアフローカバーアセンブリを取り外します。「システムオプションの取り付け」の「[プロセッサの取り外し](#)」を参照してください。
4. 大型のプロセッサ冷却ファンを取り外します。「システムオプションの取り付け」の「[冷却ファンの交換](#)」を参照してください。
5. 前面ベゼルを取り外します。「[ベゼルの取り外しと取り付け](#)」を参照してください。
6. 黄色のケーブルループを引いて、I/O パネルリボンケーブルを I/O パネルコネクタから外します。
7. I/O パネルブラケットアセンブリをシャーシ前面に固定している取り付けネジを取り外します。[図 7-2](#)を参照してください。
8. I/O パネルを持ち上げてシャーシから取り外します。[図 7-2](#)を参照してください。

図7-2 I/O パネルのコンポーネント



I/O パネルの取り付け

警告: システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。

1. システムの電源が入っている場合は、システムおよび接続されている周辺機器の電源を切り、システムを電源コンセントから外します。
2. システムカバーを取り外します。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
3. ヒートシンクおよびエアフローカバーアセンブリを取り外します。「システムオプションの取り付け」の「[プロセッサの取り外し](#)」を参照してください。
4. 大型のプロセッサ冷却ファンを取り外します。「[システムオプションの取り付け](#)」の「[冷却ファンの交換](#)」を参照してください。
5. 前面ベゼルを取り外します。「[ベゼルの取り外しと取り付け](#)」を参照してください。
6. I/O パネルブラケットアセンブリをシャーシ前面の固定タブにはめ込みます。[図 7-2](#) を参照してください。
7. 取り付けネジを取り付けて I/O パネルブラケットアセンブリを固定します。[図 7-2](#) を参照してください。
8. I/O パネルリボンケーブルを新しい I/O パネルコネクタに接続します。
9. 大型のプロセッサ冷却ファンを取り付けます。「システムオプションの取り付け」の「[冷却ファンの交換](#)」を参照してください。
10. プロセッサヒートシンクおよびエアフローカバーアセンブリを取り付けなおします。「システムオプションの取り付け」の「[プロセッサの交換](#)」を参照してください。

メモ: プロセッサの損傷を防止するには、ヒートシンクを清掃してサーマルグリースを拭き取り、新しいサーマルグリースをプロセッサに塗布してからヒートシンクを取り付けます。

11. システムカバーを閉じます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。
12. 電源ケーブルをコンセントに接続し、システムの電源を入れます。

シャーシイントルージョンスイッチ

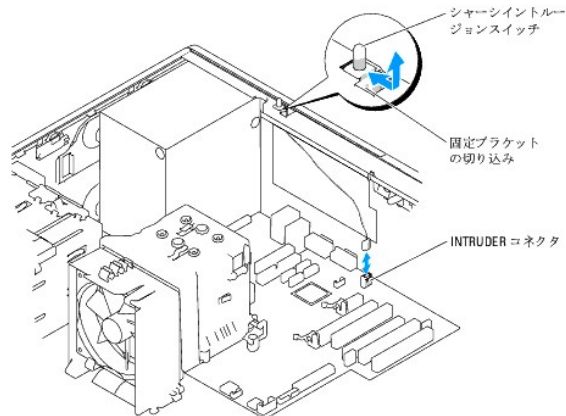
シャーシイントルージョンスイッチの取り外し

警告: システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。

1. システムおよび接続されている周辺機器の電源を切り、システムを電源コンセントから外します。
2. システムカバーを開きます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。

3. システム基板上の INTRUDER コネクタからシャーシントルージョンスイッチケーブルを取り外します。[図 7-3](#) を参照してください。
4. 固定ブラケットの切り込みからシャーシントルージョンスイッチをスライドさせて外します。[図 7-3](#) を参照してください。

図7-3 シャーシントルージョンスイッチの取り外しと取り付け



5. スイッチと取り付けケーブルをシステムから取り外します。

シャーシントルージョンスイッチの取り付け

1. シャーシントルージョンスイッチを固定ブラケットの切り込みに合わせます。[図 7-3](#) を参照してください。
2. スイッチを固定ブラケットの切り込みにはめ込みます。
3. スイッチケーブルをシステム基板の INTRUDER コネクタに接続します。
4. システムカバーを閉じます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。
5. 電源ケーブルをコンセントに接続し、システムの電源を入れます。

システム基板

警告: システムのカバーを取り外して内部の部品に手を触れる作業は、訓練を受けたサービス技術者のみが行ってください。安全上の注意、コンピュータ内部の作業、および静電気障害への対処の詳細については、手順を実行する前に『製品情報ガイド』を参照してください。


警告: 動作中はヒートシンクが高温になることがあります。やけどをしないように、システムが十分に冷えるのを待ってからシステム基板を取り外してください。


システム基板とシステム基板のトレイは、1 つのアセンブリとして取り外しおよび取り付けを行います。


システム基板の取り外し

1. システムおよび接続されている周辺機器の電源を切り、システムを電源コンセントから外します。
2. システムカバーを開きます。「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーを開く](#)」を参照してください。
3. 以下に示すように、システム基板からケーブルを取り外します。[図 A-3](#) を参照してください。
 - 1 POWER P1 および POWER P2 コネクタから 2 本の電源ケーブルを
 - 1 該当する場合、FLOPPY コネクタからディスクデータケーブルを
 - 1 FRONT PANEL コネクタから I/O パネルケーブルを
 - 1 IDE コネクタから 5.25 インチデバイスデータケーブルを

- 1 FAN_CPU コネクタからプロセッサ冷却ファンケーブルを
 - 1 CARD CAGE COOLING コネクタからカードケージ冷却ファンケーブルを
 - 1 該当する場合、SATA コネクタから SATA ハードドライブデータケーブルを
4. すべての拡張カードと取り付けケーブルを取り外します。「システムオプションの取り付け」の「[拡張カードの取り外し](#)」を参照してください。
 5. すべてのメモリモジュールを取り外します。「システムオプションの取り付け」の「[メモリモジュールの取り外し](#)」を参照してください。

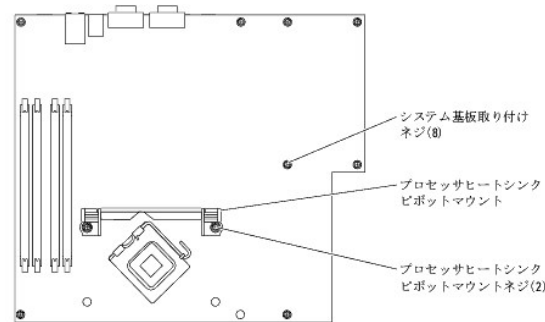
 **メモ:** メモリモジュールを正しく取り付けなおすために、メモリモジュールソケットの位置を記録します。

 **警告:** プロセッサとヒートシンクは高温になることがあります。プロセッサとヒートシンクが十分に冷えるのを待ってから作業してください。

 **注意:** プロセッサの損傷を防ぐために、ヒートシンクをプロセッサから無理にこじって外そうとしないでください。


6. プロセッサを取り外します。「システムオプションの取り付け」の「[プロセッサの取り外し](#)」を参照してください。
7. #2 ブラسدライバを使用して、システム基板をシャーシに固定している 8 本のシステム基板取り付けネジを取り外します。[図 7-4](#) を参照してください。
8. #2 ブラسدライバを使用して、2 本のプロセッサヒートシンクピボットマウントネジを取り外し、システム基板からピボットマウントを取り外します。[図 7-4](#) を参照してください。

図 7-4 システム基板マウントポイント



9. システム基板の端から外れて緩んでいるケーブルを慎重に配線します。
10. システム基板をシステムの前面方向へ静かに引き出してから、持ち上げてシャーシから取り出します。
11. システム基板トレイを非電導性の水平な面の上に置きます。

システム基板の取り付け

1. システム基板をシャーシに向けて下げ、システム基板の I/O ポートをシャーシの背面パネルの I/O コネクタ開口部に合わせます。
 2. #2 ブラسدライバを使用して、システム基板をシャーシに固定しているシステム基板の 8 本のネジを取り付けます。[図 7-4](#) を参照してください。
 3. #2 ブラسدライバを使用して、プロセッサヒートシンクピボットマウントをシステム基板に取り付けます。
-  **注意:** プロセッサの損傷を防止するには、ヒートシンクを清掃してサーマルグリースを拭き取り、新しいサーマルグリースをプロセッサに塗布してからヒートシンクを取り付けます。
4. プロセッサを取り付けます。「システムオプションの取り付け」の「[プロセッサの交換](#)」を参照してください。
 5. メモリモジュールを取り外したソケットと同じソケットに装着します。「システムオプションの取り付け」の「[メモリモジュールの取り付け](#)」を参照してください。
 6. 拡張カードを取り付け、ケーブルを接続します。「システムオプションの取り付け」の「[拡張カードの取り付け](#)」を参照してください。
 7. 「[システム基板の取り外し](#)」で取り外したケーブルを、以下のように接続します。[図 A-3](#) を参照してください。
 - 1 POWER P1 コネクタと POWER P2 コネクタに 2 本の電源ケーブルを
 - 1 該当する場合、FLOPPY コネクタにディスクドデータケーブルを
 - 1 FRONT PANEL コネクタに I/O パネルケーブルを

- 1 IDE コネクタに 5.25 インチデバイスデータケーブルを
 - 1 FAN_CPU コネクタにプロセッサ冷却ファンケーブルを
 - 1 CARD CAGE COOLING コネクタにカードケージ冷却ファンケーブルを
 - 1 該当する場合、SATA コネクタに SATA ハードドライブデータケーブルを
8. システムカバーを閉じます。「[システムのトラブルシューティング](#)」の「[システムカバーの取り付け](#)」を参照してください。
 9. 電源ケーブルをコンセントに接続し、システムの電源を入れます。

[メモ、注意および警告](#)

困ったときは

Dell™ PowerEdge™ SC430 システム インストール & トラブルシューティングガイド

- [テクニカルサポート](#)
- [Dell 企業向けトレーニングおよび資格認証](#)
- [製品情報](#)
- [保証期間中の修理または返品について](#)
- [お問い合わせになる前に](#)
- [デルの連絡先](#)

テクニカルサポート

技術上の問題でサポートが必要なときは、以下の手順に従ってください。

1. 「[システムのトラブルシューティング](#)」の手順を完了します。
2. システム診断プログラムを実行して、表示された情報を記録します。
3. [診断チェックリスト](#)を印刷し、必要事項を記入します。
4. デルのサポートウェブサイト(support.dell.com)には、インストールとトラブルシューティングに役立つ各種のオンラインサービスが用意されています。
詳細については、「[オンラインサービス](#)」を参照してください。
5. これまでの手順で問題が解決されない場合は、デルのテクニカルサポートにお電話ください。

メモ: このときテクニカルサポート担当者がコンピュータの操作をお願いすることがあるので、できればシステムの電源を入れて、システムの近くの電話からデルへお問い合わせください。

メモ: デルのエクスプレスサービスコードシステムは、ご利用になれない国もあります。

デルのオートテレフォンシステムの指示に従って、エクスプレスサービスコードを入力すると、電話は適切なサポート担当者に転送されます。エクスプレスサービスコードをお持ちでない場合は、Dell Accessories フォルダを開き、**エクスプレスサービスコード**アイコンをダブルクリックします。あとは、表示される指示に従ってください。

テクニカルサポートにお問い合わせになるときは、「[テクニカルサポートサービス](#)」および「[お問い合わせになる前に](#)」の説明を参照してください。

メモ: 以下のサービスは、アメリカ以外ではご利用になれないこともあります。サービスに関する情報は、最寄りのデルへお問い合わせください。

オンラインサービス

デルのサポートサイトへは、support.dell.com でアクセスすることができます。また、support.dell.com のサイトで表示された地図上のお住まいの国をクリックすると、その国の**サポートサイト**へようこそ ページが開きます。お使いのシステムの情報を入力し、サポートツールおよび情報にアクセスします。

インターネット上でのデルへのアクセスは、次のアドレスをご利用ください。

- 1 World Wide Web
www.dell.com/jp (日本)
www.dell.com/ap (アジア/太平洋諸国)
www.dell.com (米国)
www.euro.dell.com (ヨーロッパ)
www.dell.com/la (ラテンアメリカ諸国)
www.dell.ca (カナダ)
- 1 FTP(アノニマスファイルトランスファープロトコル)
[ftp.dell.com/](ftp://ftp.dell.com/)
anonymous ユーザーとしてログインし、ご自分の Eメールアドレスをパスワードとして使用してください。
- 1 サポートサイト
support.jp.dell.com (日本)
support@us.dell.com (米国)

apsupport@dell.com(アジア/太平洋諸国のみ)

support.euro.dell.com(ヨーロッパのみ)

1 オンライン見積りサービス

sales@dell.com(米国)

apmarketing@dell.com(アジア/太平洋諸国のみ)

sales_canada@dell.com(カナダのみ)

1 オンライン情報サービス

info@dell.com

ファックス情報サービス

オペレーティングシステムの再インストール情報など、技術的なサポート資料をお手持ちの FAX にお届けするサービスです。音声応答により、FAXBOX から必要な資料を注文することができます。

プッシュホン式の電話を使って、必要な資料を選択します。

ファックス情報サービスは、年中無休、毎日 24 時間いつでもご利用いただけます。資料は指定したファックス番号宛に送信されます。このサービスの電話番号は「デルの連絡先」を参照してください。

24 時間納期案内電話サービス

注文したデル製品の状況を確認するには、support.dell.com にアクセスするか、24 時間納期案内電話サービスにお問い合わせください。電話サービスでは、録音された指示に従って、ご注文の製品の納期を確認することができます。このサービスの電話番号は「デルの連絡先」を参照してください。

テクニカルサポートサービス

デル製品に関するお問い合わせは、デルのテクニカルサポートをご利用ください。テクニカルサポートに電話をおかけになると、サポート担当者にお問い合わせの内容を確認するために、ご使用のシステムの詳細をお聞きすることがあります。サポート担当者はこの情報をもとに、正確な回答を迅速に提供します。

デルのテクニカルサポートにお問い合わせになる場合は、「[お問い合わせになる前に](#)」をお読みになってから、「デルの連絡先」を参照してください。

Dell 企業向けトレーニングおよび資格認証

デルでは、企業向けのトレーニングと資格認証を実施しています。詳細については、www.dell.com/training を参照してください。このサービスは、ご利用いただけない地域があります。

ご注文に関する問題

欠品、誤った部品、間違った請求書などの注文に関する問題があれば、デルのカスタマーケアにご連絡ください。お電話の際は、納品書または出荷伝票をご用意ください。このサービスの電話番号は「デルの連絡先」を参照してください。

製品情報

デルのその他の製品に関する情報やご注文に関しては、デルのウェブサイトwww.dell.comをご覧ください。電話によるお問い合わせの場合は、「デルの連絡先」を参照してください。

保証期間中の修理または返品について

返品する製品は、修理の場合または代金の返済の場合を問わず、すべて次の要領で準備してください。

1. デルに電話して承認番号を入手し、製品の箱の外側のよく見えるところにはっきりと書き込みます。
このための電話番号は「デルの連絡先」を参照してください。
2. 納品書のコピーと返品理由の説明を添付します。
3. 実行したテストがわかるように(診断チェックリストを含む)診断に関する情報を添付し、システム診断で報告されたエラーメッセージがあればこれを含めます。
4. 代金の返済を目的とする返品の場合は、返品する製品に付属するすべてのアクセサリ(電源ケーブル、ソフトウェアのフロッピーディスク、ガイドブックなど)を同梱してください。

5. 返品する製品は、その製品が入っていた梱包材料(または同等の材料)を使って梱包します。

送料はお客さまの負担になります。また、返品する製品にはお客さまの責任で保険をかけて、デルへの運送中に紛失した場合に備えてください。代金引換払いの小包は認められません。

上記の各要件を満たしていない返品は、受領が拒否され、お客さま宛てに返送されるのでご注意ください。

お問い合わせになる前に

メモ: お電話の際には、エクスプレスサービスコードをご用意ください。エクスプレスサービスコードがあると、デルの電話自動サポートシステムによって、より迅速にサポートが受けられます。

前もって[診断チェックリスト](#)にご記入ください。テクニカルサポートをご利用の際は、製品本体のラベルに記載されているエクスプレスサービスコードまたはサービスタグナンバーが必要になります。お電話をおかけいただく、エクスプレスサービスコードを自動音声でおかけいただけます。エクスプレスサービスコードをもとにお客様の情報を確認し、デル担当者に電話をおつなぎ致します。エクスプレスサービスコードは、サービスタグナンバーを全桁数字に変換したデル製品の固有の管理番号です。製品本体のラベルに 8 桁から 11 桁までの数字のみの番号で記載されています。エクスプレスサービスコードが本体にない製品をお持ちのお客様のために、デル Web サポートページで変換ツールをご用意しております。サービスタグナンバーは、英数字混合の 5 桁もしくは 7 桁のデル製品の固有の管理番号です。サービスタグナンバーでもテクニカルサポートをご利用いただけますが、デル Web サポートページで変換したエクスプレスサービスコードをご用意の上、お電話いただくことをお勧めいたします。

警告: コンピュータ内部の作業を行う前に、「製品情報ガイド」を参照して、安全に関する注意事項について確認してください。

診断チェックリスト
名前:
日付:
住所:
電話番号:
サービスタグナンバー(コンピュータ背面のバーコードの番号):
エクスプレスサービスコード:
返品番号(デルのサポート技術者から提供された場合):
オペレーティングシステムとバージョン:
周辺機器:
拡張カード:
ネットワークに接続されていますか?はいいいえ
ネットワーク、バージョン、ネットワークカード:
プログラムとバージョン:
オペレーティングシステムのマニュアルを参照して、システムの起動ファイルの内容を確認してください。できれば、各ファイルの内容を印刷してください。印刷できない場合は、各ファイルの内容を記録してから、デルに電話してください。
エラーメッセージ、ビープコードまたは診断コード:
問題点の説明と実行したトラブルシューティング手順:

デルの連絡先

インターネット上でのデルへのアクセスには、次のアドレスをご利用ください。

- 1 www.dell.com
- 1 support.dell.com(テクニカルサポート)
- 1 premiersupport.dell.com (教育、政府、保険医療関係、およびプレミア、プラチナ、ゴールド会員を含む大規模の企業のお客さまのためのテクニカルサポート)

お客さまの国の デルのWeb アドレスについては、次の表を参照してください。

メモ: フリーダイヤルは、サービスを提供している国内でのみご利用になれます。

メモ: 一部の国では、Dell Inspiron™ XPS コンピュータ専用のを、該当する国について記載された専用の電話番号でご利用いただけます。Inspiron XPS コンピュータ専用の電話番号が記載されていない場合は、記載の弊社テクニカルサポートの番号にお問い合わせください。該当する番号におつなぎします。

デルへお問い合わせになる場合、次の表の電子アドレス、電話番号、およびコードをご利用ください。国際電話のかけ方については、国内または国際電話会社にお問い合わせください。

	部署名またはサービス内容、Web サイトおよび電子メールアドレス	市外局番市内番号、またはフリーダイヤル番号
国(市)国際電話アクセスコード 国番号市外局番		
アイルランド(チェリーウッド)	Web サイト: support.euro.dell.com	

国際電話アクセスコード: 16 国番号: 353 市外局番: 1	電子メール:dell_direct_support@dell.com	
	テクニカルサポート(Inspiron™ XPS コンピュータ専用)	1850 200 722
	テクニカルサポート(他のすべての Dell コンピュータ)	1850 543 543
	イギリスのテクニカルサポート(イギリス国内のみダイヤル可能)	0870 908 0800
	ホームユーザーカスタマーケア	01 204 4014
	スモールビジネスのカスタマーケア	01 204 4014
	イギリスのカスタマーケア(イギリス国内のみダイヤル可能)	0870 906 0010
	法人カスタマーケア	1850 200 982
	法人カスタマーケア(イギリス国内のみダイヤル可能)	0870 907 4499
	アイルランドのセールス部門	01 204 4444
	イギリスのセールス部門(イギリス国内のみダイヤル可能)	0870 907 4000
	FAX / セールスの FAX	01 204 0103
	代表電話番号	01 204 4444
アルーバ	一般サポート	フリーダイヤル:800-1578
アルゼンチン(ブエノスアイレス)	Web サイト:www.dell.com.ar	
国際電話アクセスコード: 00 国番号: 54 市外局番: 11	電子メール:us_latin_services@dell.com	
	電子メール(デスクトップおよびノートブックコンピュータ): la-techsupport@dell.com	
	電子メール(サーバーおよび EMC® ストレージ製品):la_enterprise@dell.com	
	カスタマーケア	フリーダイヤル:0-800-444-0730
	テクニカルサポート	フリーダイヤル:0-800-444-0733
	テクニカルサポートサービス	フリーダイヤル:0-800-444-0724
	セールス	0-810-444-3355
アングイラ	一般サポート	フリーダイヤル:800-335-0031
アンティグアおよびバーブーダ	一般サポート	1-800-805-5924
イギリス(ブラックネル)	Web サイト:support.euro.dell.com	
国際電話アクセスコード: 00 国番号: 44 市外局番: 1344	カスタマーケアの Web サイト:support.euro.dell.com/uk/en/ECare/Form/Home.asp	
	電子メール:dell_direct_support@dell.com	
	テクニカルサポート(法人 / 優先アカウント / PAD[従業員 1000 人以上])	0870 908 0500
	テクニカルサポート(ダイレクトおよび一般)	0870 908 0800
	グローバルアカウントカスタマーケア	01344 373 186
	ホーム / スモールビジネスのカスタマーケア	0870 906 0010
	法人カスタマーケア	01344 373 185
	優先アカウントカスタマーケア(従業員 500~5000 人)	0870 906 0010
	中央政府機関カスタマーケア	01344 373 193
	イギリス(ブラックネル)(続き)	地方政府機関および教育機関のカスタマーケア
	医療機関のカスタマーケア	01344 373 194
	ホーム / スモールビジネスのセールス部門	0870 907 4000
	法人 / 公共機関セクターのセールス部門	01344 860 456
	ホーム / スモールビジネスの FAX	0870 907 4006
イタリア(ミラノ)	Web サイト:support.euro.dell.com	
国際電話アクセスコード: 00 国番号: 39 市外局番: 02	電子メール:support.euro.dell.com/it/it/emaildell/	
	ホーム / スモールビジネス	
	テクニカルサポート	02 577 826 90
	カスタマーケア	02 696 821 14
	FAX	02 696 821 13
	代表電話番号	02 696 821 12
	法人	
	テクニカルサポート	02 577 826 90
	カスタマーケア	02 577 825 55
	FAX	02 575 035 30
	代表電話番号	02 577 821
インド	テクニカルサポート	1600 33 8045
	セールス(大口法人アカウント)	1600 33 8044
	セールス(ホーム / スモールビジネス)	1600 33 8046
ウルグアイ	一般サポート	フリーダイヤル:000-413-598-2521
英領バージン諸島	一般サポート	フリーダイヤル:1-866-278-6820

エクアドル	一般サポート	フリーダイヤル:999-119
エルサルバドル	一般サポート	01-899-753-0777
オーストラリア(シドニー)	電子メール(オーストラリア): au_tech_support@dell.com	
国際電話アクセスコード: 0011	電子メール(ニュージーランド): nz_tech_support@dell.com	
国番号: 61	ホーム / スモールビジネス	1-300-655-533
市外局番: 2	政府機関 / 企業	フリーダイヤル:1-800-633-559
	PAD(優先アカウント部門)	フリーダイヤル:1-800-060-889
	カスタマーケア	フリーダイヤル:1-800-819-339
	テクニカルサポート(ノートブックおよびデスクトップ)	フリーダイヤル:1-300-655-533
	テクニカルサポート(サーバーとワークステーション)	フリーダイヤル:1-800-733-314
	法人セールス	フリーダイヤル:1-800-808-385
	ダイレクトセールス	フリーダイヤル:1-800-808-312
	FAX	フリーダイヤル:1-800-818-341
オーストリア(ウィーン)	Web サイト: support.euro.dell.com	
国際電話アクセスコード: 900	電子メール: tech_support_central_europe@dell.com	
国番号: 43	ホーム / スモールビジネスのセールス部門	0820 240 530 00
市外局番: 1	ホーム / スモールビジネスの FAX	0820 240 530 49
	ホーム / スモールビジネスのカスタマーケア	0820 240 530 14
	優先アカウント / 法人カスタマーケア	0820 240 530 16
	ホーム / スモールビジネスのテクニカルサポート	0820 240 530 14
	優先アカウント / 法人テクニカルサポート	0660 8779
	代表電話番号	0820 240 530 00
オランダ(アムステルダム)	Web サイト: support.euro.dell.com	
国際電話アクセスコード: 00	テクニカルサポート(Inspiron XPS コンピュータ専用)	020 674 45 94
国番号: 31	テクニカルサポート(他のすべての Dell コンピュータ)	020 674 45 00
市外局番: 20	テクニカルサポートの FAX	020 674 47 66
	ホーム / スモールビジネスのカスタマーケア	020 674 42 00
	リレーショナルカスタマーケア	020 674 4325
	ホーム / スモールビジネスのセールス部門	020 674 55 00
	リレーショナルセールス	020 674 50 00
	ホーム / スモールビジネスセールスの FAX	020 674 47 75
	リレーショナルセールスの FAX	020 674 47 50
	代表電話番号	020 674 50 00
	代表 FAX	020 674 47 50
オランダ領アンティル	一般サポート	001-800-882-1519
ガイアナ	一般サポート	フリーダイヤル:1-877-270-4609
カナダ(オンタリオ州/ニューヨーク)	ご注文状況: www.dell.ca/ostatus	
国際電話アクセスコード: 011	AutoTech(自動テクニカルサポート)	フリーダイヤル:1-800-247-9362
	カスタマーケア(店舗 / スモールオフィス)	フリーダイヤル:1-800-847-4096
	カスタマーケア(中規模および大規模企業、政府機関)	フリーダイヤル:1-800-326-9463
	テクニカルサポート(店舗 / スモールオフィス)	フリーダイヤル:1-800-847-4096
	テクニカルサポート(中規模および大規模企業、政府機関)	フリーダイヤル:1-800-387-5757
	テクニカルサポート(プリンタ、プロジェクタ、テレビ、ハンドヘルド、デジタルジュークボックス、ワイヤレス)	1-877-335-5767
	セールス(店舗 / スモールビジネス)	フリーダイヤル:1-800-387-5752
	セールス(中規模および大規模企業、政府機関)	フリーダイヤル:1-800-387-5755
	交換部品販売と拡張サービスセールス	1 866 440 3355
韓国(ソウル)	テクニカルサポート	フリーダイヤル:080-200-3800
国際電話アクセスコード: 001	セールス	フリーダイヤル:080-200-3600
国番号: 82	カスタマーサービス(マレーシア、ペナン)	604 633 4949
市外局番: 2	FAX	2194-6202
	代表電話番号	2194-6000
	テクニカルサポート(エレクトロニクスとアクセサリ)	フリーダイヤル:080-200-3801
ギリシャ	Web サイト: support.euro.dell.com	
国際電話アクセスコード: 00	電子メール: support.euro.dell.com/gr/en/emaildell/	
国番号: 30	テクニカルサポート	00800-44 14 95 18
	ゴールドサービステクニカルサポート	00800-44 14 00 83
	代表電話番号	2108129810

	ゴールドサービス代表	2108129811
	セールス	2108129800
	FAX	2108129812
グアテマラ	一般サポート	1-800-999-0136
グレナダ	一般サポート	フリーダイヤル:1-866-540-3355
ケイマン諸島	一般サポート	1-800-805-7541
コスタリカ	一般サポート	0800-012-0435
コロンビア	一般サポート	980-9-15-3978
ジャマイカ	一般サポート(ジャマイカ国内のみダイヤル可能)	1-800-682-3639
シンガポール	Web サイト: support.ap.dell.com	
国際電話アクセスコード: 005	テクニカルサポート(Dimension™、Inspiron、エレクトロニクスとアクセサリ)	フリーダイヤル:1800 394 7430
国番号: 65	テクニカルサポート(OptiPlex™、Latitude™、Dell™ Precision™)	フリーダイヤル:1800 394 7488
	テクニカルサポート(PowerApp™、PowerEdge™、PowerConnect™、PowerVault™)	フリーダイヤル:1800 394 7478
	カスタマーサービス(マレーシア、ペナン)	604 633 4949
	ダイレクトセールス	フリーダイヤル: 1 800 394 7412
	法人セールス	フリーダイヤル:1 800 394 7419
スイス(ジュネーブ)	Web サイト: support.euro.dell.com	
国際電話アクセスコード: 00	電子メール: Tech_support_central_Europe@dell.com	
国番号: 41	フランス語圏の HSB および法人カスタマー向け電子メール: support.euro.dell.com/ch/fr/emaildell/	
市外局番: 22	テクニカルサポート(ホーム / スモールビジネス)	0844 811 411
	テクニカルサポート(法人)	0844 822 844
	カスタマーケア(ホーム / スモールビジネス)	0848 802 202
	カスタマーケア(法人)	0848 821 721
	FAX	022 799 01 90
	代表電話番号	022 799 01 01
スウェーデン(アップランズヴェスビー)	Web サイト: support.euro.dell.com	
国際電話アクセスコード: 00	電子メール: support.euro.dell.com/se/sv/emaildell/	
国番号: 46	テクニカルサポート	08 590 05 199
市外局番: 8	リレーショナルカスタマーケア	08 590 05 642
	ホーム / スモールビジネスのカスタマーケア	08 587 70 527
	Employee Purchase Program(EPP)サポート	20 140 14 44
	テクニカルサポートの FAX	08 590 05 594
	セールス	08 590 05 185
スペイン(マドリッド)	Web サイト: support.euro.dell.com	
国際電話アクセスコード: 00	電子メール: support.euro.dell.com/es/es/emaildell/	
国番号: 34	ホーム / スモールビジネス	
市外局番: 91	テクニカルサポート	902 100 130
	カスタマーケア	902 118 540
	セールス	902 118 541
	代表電話番号	902 118 541
	FAX	902 118 539
	法人	
	テクニカルサポート	902 100 130
	カスタマーケア	902 115 236
	代表電話番号	91 722 92 00
	FAX	91 722 95 83
スロバキア(ブラハ)	Web サイト: support.euro.dell.com	
国際電話アクセスコード: 00	電子メール: czech_dell@dell.com	
国番号: 421	テクニカルサポート	02 5441 5727
	カスタマーケア	420 22537 2707
	FAX	02 5441 8328
	テクニカルサポートの FAX	02 5441 8328
	代表電話番号(セールス)	02 5441 7585
セントクリストファーネイビス	一般サポート	フリーダイヤル:1-877-441-4731
セントビンセントグレナディーン	一般サポート	フリーダイヤル:1-877-270-4609
セントルシア	一般サポート	1-800-882-1521
タークスアンドケコス諸島	一般サポート	フリーダイヤル:1-866-540-3355

タイ 国際電話アクセスコード: 001 国番号: 66	Web サイト: support.ap.dell.com	
	テクニカルサポート(OptiPlex、Latitude、Dell Precision)	フリーダイヤル:1800 0060 07
	テクニカルサポート(PowerApp、PowerEdge、PowerConnect、PowerVault)	フリーダイヤル:1800 0600 09
	カスタマーサービス(マレーシア、ペナン)	604 633 4949
	法人セールス	フリーダイヤル:1800 006 009
	ダイレクトセールス	フリーダイヤル:1800 006 006
台湾 国際電話アクセスコード: 002 国番号: 886	Web サイト: support.ap.dell.com	
	電子メール: ap_support@dell.com	
	テクニカルサポート(OptiPlex、Latitude、Inspiron、Dimension、エレクトロニクスとアクセサリ)	フリーダイヤル:00801 86 1011
	テクニカルサポート(PowerApp、PowerEdge、PowerConnect、PowerVault)	フリーダイヤル:00801 60 1256
	ダイレクトセールス	フリーダイヤル:00801 65 1228
	法人セールス	フリーダイヤル:00801 651 227
チェコ共和国(プラハ) 国際電話アクセスコード: 00 国番号: 420	Web サイト: support.euro.dell.com	
	電子メール: czech_dell@dell.com	
	テクニカルサポート	22537 2727
	カスタマーケア	22537 2707
	FAX	22537 2714
	テクニカルサポートの FAX	22537 2728
	代表電話番号	22537 2711
中国(廈門) 国番号: 86 市外局番: 592	テクニカルサポートの Web サイト: support.dell.com.cn	
	テクニカルサポートの電子メール: cn_support@dell.com	
	カスタマーケアの電子メール: customer_cn@dell.com	
	テクニカルサポートの FAX	592 818 1350
	テクニカルサポート(Dell™ Dimension™ および Inspiron)	フリーダイヤル:800 858 2969
	テクニカルサポート(OptiPlex™、Latitude™、Dell Precision™)	フリーダイヤル:800 858 0950
	テクニカルサポート(サーバーとストレージ)	フリーダイヤル:800 858 0960
	テクニカルサポート(プロジェクタ、PDA、スイッチ、ルーターなど)	フリーダイヤル:800 858 2920
	テクニカルサポート(プリンタ)	フリーダイヤル:800 858 2311
	カスタマーケア	フリーダイヤル:800 858 2060
	カスタマーケアの FAX	592 818 1308
	ホーム / スモールビジネス	フリーダイヤル:800 858 2222
	優先アカウント部門	フリーダイヤル:800 858 2557
	大口法人アカウント(GCP)	フリーダイヤル: 800 858 2055
	大口法人アカウント(お得意様)	フリーダイヤル: 800 858 2628
	大口法人アカウント(北部)	フリーダイヤル:800 858 2999
	大口法人アカウント(北部政府機関および教育機関)	フリーダイヤル:800 858 2955
	大口法人アカウント(東部)	フリーダイヤル:800 858 2020
	中国(廈門)(続き)	大口法人アカウント(東部政府機関および教育機関)
大口法人アカウント(キューチーム)		フリーダイヤル:800 858 2572
大口法人アカウント(南部)		フリーダイヤル:800 858 2355
大口法人アカウント(西部)		フリーダイヤル: 800 858 2811
大口法人アカウント(交換部品)		フリーダイヤル:800 858 2621
チリ(サンティアゴ) 国番号: 56 市外局番: 2	セールス、カスタマーケア、テクニカルサポート	フリーダイヤル:1230-020-4823
デンマーク(コペンハーゲン) 国際電話アクセスコード: 00 国番号: 45	Web サイト: support.euro.dell.com	
	電子メール: support.euro.dell.com/dk/da/emaildell/	
	テクニカルサポート(Inspiron XPS コンピュータ専用)	7010 0074
	テクニカルサポート(他のすべての Dell コンピュータ)	7023 0182
	カスタマーケア(リレーショナル)	7023 0184
	ホーム / スモールビジネスのカスタマーケア	3287 5505
	代表電話番号(リレーショナル)	3287 1200
	代表 FAX(リレーショナル)	3287 1201
	代表電話番号(ホーム / スモールビジネス)	3287 5000

	代表 FAX(ホーム / スモールビジネス)	3287 5001
ドイツ(ランゲン)	Web サイト: support.euro.dell.com	
国際電話アクセスコード: 00	電子メール: tech_support_central_europe@dell.com	
国番号: 49	テクニカルサポート(Inspiron XPS コンピュータ専用)	06103 766-7222
市外局番: 6103	テクニカルサポート(他のすべての Dell コンピュータ)	06103 766-7200
	ホーム / スモールビジネスのカスタマーケア	0180-5-224400
	グローバルカスタマーケア	06103 766-9570
	優先アカウントカスタマーケア	06103 766-9420
	大口アカウントカスタマーケア	06103 766-9560
	公共機関アカウントカスタマーケア	06103 766-9555
	代表電話番号	06103 766-7000
東南アジア / 太平洋沿岸諸国	カスタマーテクニカルサポート、カスタマーサービス、セールス(マレーシア、ペナン)	604 633 4810
ドミニカ	一般サポート	フリーダイヤル: 1-866-278-6821
ドミニカ共和国	一般サポート	1-800-148-0530
トリニダードトバゴ	一般サポート	1-800-805-8035
ニカラグア	一般サポート	001-800-220-1006
日本(川崎)	Web サイト: support.jp.dell.com	
国際電話アクセスコード: 001	テクニカルサポート(サーバー)	フリーダイヤル: 0120-198-498
国番号: 81	テクニカルサポート(海外から)(サーバー)	81-44-556-4162
市外局番: 44	テクニカルサポート(Dimension および Inspiron)	フリーダイヤル: 0120-198-226
	テクニカルサポート(海外から)(Dimension および Inspiron)	81-44-520-1435
	テクニカルサポート(Dell Precision, OptiPlex, Latitude)	フリーダイヤル: 0120-198-433
	テクニカルサポート(海外から)(Dell Precision, OptiPlex, Latitude)	81-44-556-3894
	テクニカルサポート(PDA、プロジェクタ、プリンタ、ルーター)	フリーダイヤル: 0120-981-690
	テクニカルサポート(海外から)(PDA、プロジェクタ、プリンタ、ルーター)	81-44-556-3468
	FAX 情報サービス	044-556-3490
	24 時間納期案内サービス	044-556-3801
	カスタマーケア	044-556-4240
	ビジネスセールス本部(従業員数 400 人未満の企業のお客様)	044-556-1465
	法人営業本部(従業員数 400 人以上の企業のお客様)	044-556-3433
	エンタープライズ営業本部(従業員数 3500 人以上の企業のお客様)	044-556-3430
	パブリック営業部(官公庁 / 研究・教育機関 / 医療機関のお客様)	044-556-1469
	グローバル営業本部(Global Segment Japan)	044-556-3469
	個人のお客様	044-556-1760
	代表電話番号	044-556-4300
ニュージーランド	電子メール(ニュージーランド): nz_tech_support@dell.com	
国際電話アクセスコード: 00	電子メール(オーストラリア): au_tech_support@dell.com	
国番号: 64	テクニカルサポート(デスクトップおよびノートブックコンピュータ)	フリーダイヤル: 0800 446 255
	テクニカルサポート(サーバーとワークステーション)	フリーダイヤル: 0800 443 563
	ホーム / スモールビジネス	0800 446 255
	政府機関 / 企業	0800 444 617
	セールス	0800 441 567
	FAX	0800 441 566
ノルウェー(リサケー)	Web サイト: support.euro.dell.com	
国際電話アクセスコード: 00	電子メール: support.euro.dell.com/no/no/emaildell/	
国番号: 47	テクニカルサポート	671 16882
	リレーションナルカスタマーケア	671 17575
	ホーム / スモールビジネスのカスタマーケア	23162298
	代表電話番号	671 16800
	FAX 代表	671 16865
バーミューダ	一般サポート	1-800-342-0671
パナマ	一般サポート	001-800-507-0962
バハマ	一般サポート	フリーダイヤル: 1-866-278-6818
バルバドス	一般サポート	1-800-534-3066
フィンランド(ヘルシンキ)	Web サイト: support.euro.dell.com	
国際電話アクセスコード: 990	電子メール: support.euro.dell.com/fi/fi/emaildell/	
国番号: 358	テクニカルサポート	09 253 313 60
	カスタマーケア	09 253 313 38

市外局番: 9	FAX	09 253 313 99
	代表電話番号	09 253 313 00
プエルトリコ	一般サポート	1-800-805-7545
ブラジル	Web サイト: www.dell.com/br	
	カスタマーサポート、テクニカルサポート	0800 90 3355
国際電話アクセスコード: 00	テクニカルサポートの FAX	51 481 5470
国番号: 55	カスタマーケアの FAX	51 481 5480
市外局番: 51	セールス	0800 90 3390
フランス(パリ) (モンペリエ)	Web サイト: support.euro.dell.com	
	電子メール: support.euro.dell.com/fr/fr/emaildell/	
国際電話アクセスコード: 00	ホーム / スモールビジネス	
国番号: 33	テクニカルサポート(Inspiron XPS コンピュータ専用)	0825 387 129
市外局番: (1) (4)	テクニカルサポート(他のすべての Dell コンピュータ)	0825 387 270
	カスタマーケア	0825 823 833
	代表電話番号	0825 004 700
	代表電話番号(フランス国外から)	04 99 75 40 00
	セールス	0825 004 700
	FAX	0825 004 701
	FAX(フランス国外から)	04 99 75 40 01
	法人	
	テクニカルサポート	0825 004 719
	カスタマーケア	0825 338 339
	代表電話番号	01 55 94 71 00
	セールス	01 55 94 71 00
	FAX	01 55 94 71 01
ブルネイ	カスタマーテクニカルサポート(マレーシア、ペナン)	604 633 4966
	カスタマーサービス(マレーシア、ペナン)	604 633 4949
	ダイレクトセールス(マレーシア、ペナン)	604 633 4955
米国(テキサス州オースティン)	24 時間納期案内電話サービス	フリーダイヤル:1-800-433-9014
	AutoTech(ノートブックおよびデスクトップコンピュータ)	フリーダイヤル:1-800-247-9362
	個人向け (家庭およびホームオフィス用)	
	テクニカルサポート	フリーダイヤル:1-800-624-9896
	カスタマーサービス	フリーダイヤル:1-800-624-9897
	DellNet サービスとサポート	フリーダイヤル:1-877-Dellnet (1-877-335-5638)
	社員購入プログラム(EPP)	フリーダイヤル:1-800-695-8133
	金融サービスの Web サイト: www.dellfinancialservices.com	
	金融サービス(リース / ローン)	フリーダイヤル:1-877-577-3355
	金融サービス(デル優先アカウント [DPA])	フリーダイヤル:1-800-283-2210
	ビジネス	
	カスタマーサービスとテクニカルサポート	フリーダイヤル:1-800-822-8965
	社員購入プログラム(EPP)	フリーダイヤル:1-800-695-8133
	プリンタとプロジェクトのテクニカルサポート	フリーダイヤル:1-877-459-7298
	公共事業 (政府、教育、医療)	
	カスタマーサービスとテクニカルサポート	フリーダイヤル:1-800-456-3355
	社員購入プログラム(EPP)	フリーダイヤル:1-800-234-1490
米国(テキサス州オースティン) (続き)	Dell セールス	フリーダイヤル:1-800-289-3355 またはフリーダイヤル:1-800-879-3355
	Dell アウトレットストア(デルの修理済みコンピュータ)	フリーダイヤル:1-888-798-7561
	ソフトウェアおよび周辺機器のセールス	フリーダイヤル:1-800-671-3355
	交換部品販売	フリーダイヤル:1-800-357-3355
	拡張サービスと保証セールス	フリーダイヤル:1-800-247-4618
	FAX	フリーダイヤル:1-800-727-8320
	聴覚・言語障害者のためのサービス	フリーダイヤル:1-877-DELLTTY (1-877-335-5889)
米領バージン諸島	一般サポート	1-877-673-3355

ベネズエラ	一般サポート	8001-3605
ベルー	一般サポート	0800-50-669
ベルギー(ブリュッセル)	Web サイト: support.euro.dell.com	
国際電話アクセスコード: 00	フランス語圏のカスタマー向け電子メール: support.euro.dell.com/be/fr/emaildell/	
国番号: 32	テクニカルサポート(Inspiron XPS コンピュータ専用)	02 481 92 96
市外局番: 2	テクニカルサポート(他のすべての Dell コンピュータ)	02 481 92 88
	テクニカルサポートの FAX	02 481 92 95
	カスタマーケア	02 713 15 .65
	法人セールス	02 481 91 00
	FAX	02 481 92 99
	代表電話番号	02 481 91 00
ポーランド(ワルシャワ)	Web サイト: support.euro.dell.com	
国際電話アクセスコード: 011	電子メール: pl_support_tech@dell.com	
国番号: 48	カスタマーサービスの電話	57 95 700
市外局番: 22	カスタマーケア	57 95 999
	セールス	57 95 999
	カスタマーサービスの FAX	57 95 806
	受付の FAX	57 95 998
	代表電話番号	57 95 999
ポリビア	一般サポート	フリーダイヤル: 800-10-0238
ポルトガル	Web サイト: support.euro.dell.com	
国際電話アクセスコード: 00	電子メール: support.euro.dell.com/pt/en/emaildell/	
国番号: 351	テクニカルサポート	707200149
	カスタマーケア	800 300 413
	セールス	800 300 410 または 800 300 411 または 800 300 412 または 21 422 07 10
	FAX	21 424 01 12
香港	Web サイト: support.ap.dell.com	
国際電話アクセスコード: 001	テクニカルサポートの電子メール: apsupport@dell.com	
国番号: 852	テクニカルサポート(Dimension および Inspiron)	2969 3188
	テクニカルサポート(OptiPlex, Latitude, Dell Precision)	2969 3191
	テクニカルサポート(PowerApp, PowerEdge, PowerConnect, PowerVault)	2969 3196
	カスタマーケア	3416 0910
	大口法人アカウント	3416 0907
	グローバルカスタマープログラム	3416 0908
	中規模企業部門	3416 0912
	ホーム / スモールビジネス部門	2969 3105
マカオ	テクニカルサポート	フリーダイヤル: 0800 105
国番号: 853	カスタマーサービス(中国、廈門)	34 160 910
	ダイレクトセールス(中国、廈門)	29 693 115
マレーシア(ペナン)	Web サイト: support.ap.dell.com	
国際電話アクセスコード: 00	テクニカルサポート(Dell Precision, OptiPlex, Latitude)	フリーダイヤル: 1 800 88 0193
国番号: 60	テクニカルサポート(Dimension, Inspiron, エレクトロニクスとアクセサリ)	フリーダイヤル: 1 800 88 1306
市外局番: 4	テクニカルサポート(PowerApp, PowerEdge, PowerConnect, PowerVault)	フリーダイヤル: 1800 88 1386
	カスタマーサービス(マレーシア、ペナン)	04 633 4949
	ダイレクトセールス	フリーダイヤル: 1 800 888 202
	法人セールス	フリーダイヤル: 1 800 888 213
南アフリカ(ヨハネスブルグ)	Web サイト: support.euro.dell.com	
国際電話アクセスコード:	電子メール: dell_za_support@dell.com	
09/091	ゴールドキュー	011 709 7713
国番号: 27	テクニカルサポート	011 709 7710
市外局番: 11	カスタマーケア	011 709 7707
	セールス	011 709 7700
	FAX	011 706 0495
	代表電話番号	011 709 7700
	Dell アウトレットストア(デルの修理済みコンピュータ)	フリーダイヤル: 1-888-798-7561
	ソフトウェアおよび周辺機器のセールス	フリーダイヤル: 1-800-671-3355
	交換部品販売	フリーダイヤル: 1-800-357-3355

	拡張サービスと保証セールス	フリーダイヤル:1-800-247-4618
	FAX	フリーダイヤル:1-800-727-8320
	聴覚・言語障害者のためのサービス	フリーダイヤル:1-877-DELLTTY (1-877-335-5889)
メキシコ 国際電話アクセスコード: 00 国番号: 52	カスタマーテクニカルサポート	001-877-384-8979 または 001-877-269-3383
	セールス	50-81-8800 または 01-800-888-3355
	カスタマーサービス	001-877-384-8979 または 001-877-269-3383
	代表	50-81-8800 または 01-800-888-3355
モントセラト	一般サポート	フリーダイヤル:1-866-278-6822
ラテンアメリカ	カスタマーテクニカルサポート(米国、テキサス州オースチン)	512 728-4093
	カスタマーサービス(米国、テキサス州オースチン)	512 728-3619
	FAX(テクニカルサポートおよびカスタマーケア)(米国、テキサス州オースチン)	512 728-3883
	セールス(米国、テキサス州オースチン)	512 728-4397
	セールス部門 FAX(米国、テキサス州オースチン)	512 728-4600 または 512 728-3772
ルクセンブルグ 国際電話アクセスコード: 00 国番号: 352	Web サイト: support.euro.dell.com	
	電子メール: tech_be@dell.com	
	テクニカルサポート(ベルギー、ブリュッセル)	3420808075
	ホーム / スモールビジネスのセールス部門(ベルギー、ブリュッセル)	フリーダイヤル:080016884
	法人セールス(ベルギー、ブリュッセル)	02 481 91 00
	カスタマーケア(ベルギー、ブリュッセル)	02 481 91 19
	FAX(ベルギー、ブリュッセル)	02 481 92 99
代表電話番号(ベルギー、ブリュッセル)	02 481 91 00	

[メモ、注意および警告](#)